

## 論 説

# 介護を担う子どもと支援事業

三 富 紀 敬

### 1. 介護を担う子どもの発見と定式化

介護を担う子どもの姿は、序章に述べたように世界的にも良く知られるイギリスの小説家たちによって描かれる。

小説に描かれる子どもの姿は、子どもの歴史に関する1970年代中葉の研究成果によても確かめることができる。子どもは、両親の一方もしくは双方の他界と共に幼い弟や妹の介護を担う。11世紀の初頭にまで遡って確かめることのできる社会現象の一つである。

これらが歴史的な事実であるばかりでなく、今日の問題でもあると受け止められるまでには、相応の時間を要する。その後、介護を担う子どもについて独自に取り上げるのは、拙著『イギリスの在宅介護者』（ミネルヴァ書房、2000年）において指摘をした<sup>(1)</sup>ように新聞や大衆誌である。英国放送協会（BBC）の編集による『オープン・スペース』誌（Open Space）が、「小さな金魚たち」（Little Goldfish People）と題して障がいを持つ母親の世話を携わる子どもの様子について描きながら、かかる状態を視野に收めようとしない福祉サービスの在りように批判を加える（85年7月31日号）。同様に『ザ・リスナー』誌（The Listener、87年5月21日号）や『サウサー・イブニング・エコー』紙（The Southern Evening Echo、同年11月25日）あるいは『リヴァプール・エコー』誌（Liverpool Echo、91年2月、同年7月）等も介護を担う子どもとその問題について記事を掲載する。

新聞や大衆誌がこれらの問題を取り上げ始め世論の関心が呼び起こされるにつれて、研究者や行政機関への批判も寄せられる。すなわち、もっぱら新聞や大衆誌に取り上げられる限りであって、研究者や行政機関は、これらの問題を取り扱おうとしないことへの批判である。確かに英国放送協会の『オープン・スペース』誌が介護を担う子どもの問題を初めて取り上げる85年は、政府の統計局が『一般世帯調査』の調査項目に介護者の問題を挿入して実施した最初の年である。しかし、ここに言う介護者は16歳以上の年齢階層を対象にする限りであって、そこに介護を担う子どもへの問題関心は認められない。調査研究の対象として向き合おうとしない姿勢は、政府の調査機関に止まらず残念ながら研究者のそれもある。

介護を担う子どもの問題が調査の対象として最初に拾い上げられるのは、88年である。この年に2つの調査が行われる。そのひとつは、サンドウェル市（City of Sandwell）内の中等学校に通う子どもの介護役割とその影響に関する調査である<sup>(2)</sup>。いまひとつは、タームサイド州の介護者調査の一部として実施された介護を担う子どもに関する調査である<sup>(3)</sup>。いずれも自治体による調査である。成人の介護者に関する調査結果がB. S. ロウントリー（B. Seebohm Rowntree）『高齢化と高齢者介護の問題に関する調査委員会報告』（1947年）に紹介されていること<sup>(4)</sup>を改めて思い起こすならば、介護を担う子どもの調査は、この41年後によく実施され公表されることになる。英国放送協会が世論を喚起し社会に衝撃を以って迎えられた記事の発表から数えても、3年後のことである。

介護を担う子どもに関する調査研究は、この2つの調査の発表以降に各地において進む。その契機として2つのことをあげることができる。

そのひとつは、保健省による資金の提供とこれを拠り所にする支援事業の開始である。保健省は、介護を担う子どもへの支援を担当する職員の採用を念頭に、これに要する資金の提供を英国介護者協会に対して行う。89年のことである<sup>(5)</sup>。英国介護者協会は、これを原資に職員を採用すると共に、介護を担う子どもへの支援を主要な事業の一つに位置付ける。翌90年には、介護を担う子どもへの支援事業が初めて開始される。調査研究が支援事業の一環として行われ、その成果が相次いで公表される<sup>(6)</sup>。

いまひとつは、介護を担う子どもに関する調査研究グループ（YCRG）の設立である。このグループは、ラフバラ大学（Loughborough University）において92年に設置され、数多くの調査研究を手掛けると共に、イギリスはもとより諸外国における調査研究の進展と支援政策の形成に少くない影響を与える。介護を担う子どもの存在は、アメリカをはじめオーストラリア、ニュージーランド、フランス、ドイツ、スウェーデン、バングラディッシュ、ジンバブエ及び日本などの諸国においても確かめられる。国によってはその規模に関する調査結果も公表される<sup>(7)</sup>。介護者に関する国際レベルの会議（2002年10月、ワシントン、2007年6月、トロント）が、介護を担う子どもの問題を相次いで議題の一つに取り上げたことも良く知られる。これらのうち調査結果は、先の調査研究グループの業績に直接に触発された成果である。調査研究グループの影響が海を越えて広く国際的に認められるとすれば、その発信元としてのイギリス国内に及ぼす影響も言うまでもなく大きい。介護を担う子どもに関するイギリス各地の調査は、90年11月から98年5月の期間に44箇所において実施される<sup>(8)</sup>。介護を担う子どもに関する調査研究は、88年に2つの調査として開始されて以降短い期間に広がりを見せるのである。

『社会政策国際百科事典』（ルートレッジ社、2006年、全3巻）は、介護者の項目を設けて説明を加えるものの、介護を担う子どもに直接言及することはもとより、その存在を間接的に示唆す

る説明を施すわけではない。しかし、『社会福祉百科事典』（ブラックウェル社、2000年）並びに『社会政策研究一主題と方法一』（ポリシー・プレス社、2004年）は、介護を担う子どもを独自の項目として設定しながら必要な定義を加える。介護を担う子どもは、これに示されるように社会政策分野に関する限り即断し難いとはいえ、今日、社会福祉の分野において認知される存在である。『社会福祉百科事典』における定義は、事典の刊行された当時ラフバラ大学に勤務されていたソール・ベッカー（Saul Becker、現ノッチンガム大学教授）の筆になる。以下の内容である。

介護を担う子どもとは、「他の家族構成員の介護に当り、もしくは援助に携わる、あるいは介護や援助を提供するつもりの18歳未満の子どもである。子どもは、通常ならば成人の手掛ける重要な、もしくは相当な介護をいつも担う。要介護者は、障がいや何らかの慢性疾患、精神的な健康上の問題あるいは介護や援助もしくは見守りなどを要する他の状態の親をはじめ兄弟姉妹、祖父母あるいは他の親戚から構成される」<sup>(9)</sup>。

介護を担う子どもの定義を巡っては、今日においても諸説のあるところである。たとえばS.ベッカーは、93年に「疾病もしくは障がいを抱える血縁者に自宅において主な介護を提供する18歳未満の子ども」<sup>(10)</sup>として定義を加える。先の2000年における定義とは、主に3つの点で異なる。第1に、介護の行われる場所に関わって自宅におけるとの表現は、93年の定義に盛り込まれるもの、2000年のそれにおいては削除される。第2に、介護負担の程度を示す表現、すなわち「通常ならば成人が手掛ける重要なもしくは相当な介護をいつも担う」との文言が、2000年の定義に新たに挿入される。第3に、既に介護を担う子どもはもとより近々介護を担うことになる子供も、視野に收めながら定義が加えられる。これも2000年の定義に新たに挿入された内容の一つである。

これらのうち第2に示す文言は、介護者の承認とサービスに関する95年法における介護者の定義、すなわち「相当な介護をいつも担う」との表現を取り入れた結果である。同じく第3として示す文言は、介護者と障がい児に関する2000年法に新しく加えられる定義である「相当な介護をいつも担い、もしくは担うつもりの個人、すなわち介護者」との表現に習ったものである。これらの2つの変更は、見られるように法制度の変更を視野に収めた結果である。これは、介護者の問題を所管する保健省の公式の定義を尊重した結果である、と言い換えることもできる。

しかし、介護を担う子どもの定義に関してあまねく認められる定義は、S.ベッカーも認める<sup>(11)</sup>ように存在しない。たとえば英国介護者協会は、以下の定義を95年と98年に行い、これを今日も基本的に継承する。すなわち「介護を担う子どもは、疾病や障がいを抱えて精神的な苦痛を覚え、もしくは薬物やアルコールの乱用あるいはエイズの感染を受けた人の介護に責任を負わなければならないことから、何らかの方法でその生活を制限される18歳未満の子どもである」<sup>(12)</sup>。ここには、見られるように「相当な介護をいつも担い…」との文言はない。英国介護者協会は、「相当な介護をいつも担い…」との文言を退けることによって比較的軽微な介護負担に止まる子どもたちをも、

定義に含めようとする。S.ベッカーの2000年における定義が狭義のそれであるとすれば、英國介護者協会の定義は、広く包括的なそれである。また、要介護者の疾病や障がいの形態をやや具体的に示し、これを介して介護を担う子どもの発見に結び付けようとする、優れて啓発的な意図が定義に込められていることも、いまひとつの特徴である。介護者の団体らしい配慮溢れる定義である。

相違は、両者のそれに止まらない。他の研究者や政府機関及び他の民間非営利団体による定義からも同じように読み取ることができる。国際的にも知られる研究者と団体の作業を俎上に載せることから、相当数の自治体や団体等の見解を取り上げなければなるまい。そこで、300の研究者や自治体及び民間非営利団体等による定義を一次資料に沿いながら調べてみたい。

すると介護を担う子どもの年齢を18歳未満とする定義は、最も広い支持を得ているとはいえる。これが唯一の年齢規準として通用するかといえば、必ずしもそうとはいえない（表6-1）。18歳未満とする定義は、全体の3分の2を下まわる（60.7%）。特定の年齢を示さない例も一定の割合を記録する（18.3%）。この国でヤング・ペーパー（young person）と言えば18歳未満の者を指し、また、チルドレン（children）と表現すれば義務教育修了年齢に至らない者を示すという事情がある。これを考慮するならば、18歳未満の定義は、事実上のそれも含めておよそ5分の4を記録する（79.0%）。しかし、これは、見られるように全てではない。25歳未満を基準にする規定もごく限られるといえ確認される。オーストラリアにおいて比較的広い支持を得る年齢規準である<sup>(13)</sup>とはいえる。イギリスに関する限り前出の表に示すようにごく僅かな採用を記録するに過ぎない（1.0%）。少なくともS.ベッカーと英國介護者協会に共通に採用される18歳未満という年齢基準は、このように遍く取り入れられるわけではない。

また、介護負担に関わって「相当な介護をいつも担う」との文言を採用する例は、些かも多いとはいえない（9.3%）。英國介護者協会がこの種の文言を退けるように、殆んどの民間非営利団体も協会と同様の対応を示す（80.5%）。あたかも民間非営利団体としての独自の存在価値を示すかのように、優れて包括的な対応である。自治体もこれに類似の傾向を示す（75.1%）。

表6-1 介護を担う子どもの定義に関する主な規準の採用状況（1995—2007年）

(単位：人、箇所)

	研究者	政府機関	自治体	民間非営利団体	計
年齢規準					
15歳以下			2		2
8歳以上16歳以下				2	2
16歳以下			4	1	5
5歳以上17歳以下			2		2

8歳以上17歳以下	1		2	1	4
18歳未満	12	3	107	60	182
18歳以下			8	5	13
8歳以上18歳以下			4	3	7
4歳以上18歳以下			2	2	4
5歳以上18歳以下			4	5	9
9歳以上19歳以下			1		1
7歳以上21歳未満				2	2
21歳未満				3	3
7歳以上21歳以下			2	1	3
25歳未満			2	1	3
5歳以上25歳以下			3		3
特定の年齢を示さず <sup>(1)</sup>	4	2	30	19	55
介護負担					
相当の介護をいつも担う	6	4	15	3	28
重大な影響を伴う負担	3		28	11	42
上の2つの表現以外 <sup>(2)</sup>	8	1	130	91	230

(資料) Pauline Banks and als, Litterature review of identification, needs assessment and service provision for young carers and their families, Scottish Executive, 2002, p.9, Hannah Crabtree and Lesley Warner, Too much take on, a report on young carers and bullying, PRTC, 1999, p.2, Tilly K. Heigh, The Health needs of young carers, NCH CYMRU, 2003, p.2, Jenny Frank, Couldn't care more, The Children's Society, 1995, p.1, Alison Bullough, Not too young to care, Brighton & Hove young carers pilot project, September 1995 - October 1996, The Carers' Centre, 1996, p.5, Laura Rhoderick, Young carers revisited, an evaluative study into the work of the York/Selby young carers initiative, York Council for Voluntary Service Practice Learning Centre, 1998, p.4, Colchester Carers Centre (for Children), Young carers project, Colchester Carers Centre, 2007, p.1, North Staffs Carers Association, Young Carers Department, Information pack for professionals, North Staffs Carers Association,, 2005, p.1, A Letter from Brenda Rudkin (young carers co-ordinator, Wigan and Leigh young carers scheme) to Kiyoshi MITOMI dated 30<sup>th</sup> June 2007, A Letter from Caroline Dickinson (Suffolk young carers) to Kiyoshi MITOMI dated 27<sup>th</sup> June 2007, Winches-ter Young Carers Project, <http://winchesterc.m.web-labs.co.uk/wycp/home/>, PRT Dundee Carers Centre, Young carers project, annual report, summary 2005/06, PRT Dundee Carers Centre, 2006, p.1, Welsh Assembly Government, ACE young carers, Welsh Assembly Government, p.1, PRT Eden Carers Centre, Eden young carers, PRT Eden Carers Centre, p.2, PRT Swindon Carers Centre, Guide to services, PRT Swindon Carers Centre, pp.1-2, Norfolk Carers, Who cares, Norfolk Carers, 2007, p.4, PRTC, <http://www.carers.org/who-is-a-carer.118.GP.html>, Wiltshire County Council and als, Young carers strategy 2000-2003 for Wiltshire and Swindon, Wiltshire County Council and als, 2000, p.2, CNA, About young carers, CNA, 1995, p.1, Huw Meredith, Supporting the young carers, Community Outlook, May 1992, p.15, Alison Walker, Young carers and their families,

a survey carried out by the Social Survey Division of the ONS on behalf of the DoH, TSO, 1996, p.3, Department of Health, Young carers, something to think about, report of four SSI work-shops May-July 1995, DH, 1996, pp.1-2, Jenny Frank, Making it work, good practice with young carers and their families, PRTC, 2002, p.6 and p.8, Surrey Young Carers Project, Young carers, resource pack for schools, Surrey YCP, 2003, p.5, Robina Shah and Chris Hatton, Caring alone, young carers in South Asian communities, Barnardos, 1999, p.1, Alison Elliot, Hidden children, a study of ex-young carers of parents with mental health problems in Leeds, Leeds City Council, 1992, p.1, Haringey Council, Young carers, [http://www.haringey.gov.uk/index/children-and-families/advice\\_for\\_young\\_people/](http://www.haringey.gov.uk/index/children-and-families/advice_for_young_people/), Peterborough Young Carers Project, Helping young people care in Peterborough, Peterborough YCP, p.1, <http://www.pcvs.co.uk/youngcarers/index.html>, Hambleton and Richmond Carers, Young carers project, p.1, <http://www.hrcarers.org.uk/index.php?id=22&secid=01&PHPSESSID=7c9437/65fd>, City of Newcastle, Young carers, City of Newcastle, 2007, p.1, Kent Young Carers, <http://www.kentyoungcarers.org.uk/index.aspx>, p.1, Cornwall County Council, Help for young carers under 18, Cornwall County Council, 2007, p.1, Barnardo's, A Guide for agencies working with young carers, Bristol, young carers scheme, Barnardo's, 1999, p.1, Off the Record, The Young carers project, Bath and North East Somerset, six month report, December 1996 - June 1997, Off the Record, 1997, p.6, Young Carers Project Resource Pack, Carers information and support services, Young Carers Project Resource Pack, 2001, p.1, Off the Record, Young carers support project, Off the Record, 2006, p.4 and p.6, East Sussex Young Carers Project, Information pack for professionals, East Sussex YCP, p.1, Kirklees Young Carers, Annual report 1996/97, Kirklees Young Carers, 1997, p.12 and p.14, Children North East, Young carers development project, Sept. 1994 - Sept. 1997, Children North East, 1997, p.17, PRT Salford Carers Centre, Do you help to look after someone at home? PRT Salford Carers Centre, p.ii, Young Carers in Sedgefield and Wear Valley Districts, Do you know a young carer? Young Carers in Sedgefield and Wear Valley Districts, p.1, Kim Sales, Excluded young people, our Solihull young carers, brief outline summary undertaken by Solihull YCP, Solihull YCP, p.1, South Cheshire YCP, Final report of work undertaken 1996-1999, South Cheshire YCP, 1999, p.25, Carers Association in South Tyneside, Young carers conference report, Carers Association in South Tyneside, 1999, p.4, Torfaen County Borough, Carers' information handbook, Torfaen County Borough, 2000, p.2, Argyll and Bute Council, Support for carers, Argyll and Bute Council, p.1, Dundee City Council, Looking after a relative or friend? do you need help? Dundee City Council, 1997, p.1, Fife, Joint community care plan 1998-2001, Fife, 1998, p.51, North Lanarkshire, Strategy for carers 2001-2004, North Lanarkshire, 2001, p.15, Crossroads, Surrey Young Carers Project, Information for professionals, Crossroads, 1997, p.2, NCH CYMRU, Helping the children who need it the most, NCH CYMRU, 2000, p.1, Devon Youth Association, Young carers in West Devon, Devon Youth Association, p.1, West Lancashire Young Carers Project, First report; July 1999-July 2001, West Lancashire YCP, 2001, p.4, Natasha Munoz, Young carers and their families in Westminster, Westminster Carers Service, 1998, p.7, West Sussex Carers Centre, Young carers research review, West Sussex Carers Centre, 2001, p.1, Wigan MBC, Young carers support file, Wigan MBC, p.2, Birmingham City Council, Carers connect, February 1999, p.12, Sandwell MBC, Getting the help and support you need, Sandwell MBC, 1999, p.132, Worthing Carers Liaison Project, Carers information pack, Worthing CLP, 1996, p.17, Leeds City Council, Choices for carers, 1998 edition, Leeds City Council, p.10, Kirklees Metropolitan Council, Carers handbook, Kirklees Metropolitan Council, 2001, p.2, Kirklees Metropolitan Council, Working with carers, Kirklees Metropolitan Council, 1999, p.8, Wiltshire County Council, Advocacy for carers- support for carers in Wiltshire, <http://www.wiltshire.gov.uk/>

health, and-social-care/advocacy-for-carers/advoca..., Cardiff County Council, Cardiff carers plan, draft, Cardiff County Council, 2001, p.5, Denbighshire County Council, Carers information pack, Denbighshire County Council, 1999, p.17, Carers in Hertfordshire, About us, welcome to the Hertfordshire young carers website, <http://www.koolcarers.org.uk/about.htm>, Edinburgh Young Carers Project, Referral and contact details, Edinburgh YCP, p.1, West Lancashire Young Carers, How to contact us, West Lancashire Young Carers, p.1, Pam Allen, Evaluation of a group work programme, young people coping with parental mental health, Children's Hospital Foundation Trust, 2006, p.2, NCH Barnsley Young Carers, Information pack, NCH Barnsley Young Carers, 2007, p.4, North Argyll Carers Centre, Young carers, North Argyll Carers Centre, p.1, PRT Sutton Carers Centre, Information for young carers, PRT Sutton Carers Centre, p.1, Dudley Young Carers Project, Review of project activity for 2006/07, Dudley YCP, 2007, A3, Sheffield City Council, Help for young carers in Sheffiled, <http://www.sheffield.gov.uk/safe-sound/social-services/getting-help-from-social...>, Sheffiled Young Carers Project, About us, <http://freespace.virgin.net/young.carer/Pages/aboutus.htm>, Young Carers Research Group, Contacts, Young Carers Research Group, 1994, p.1, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers and education, Carers UK, 2001, p.1, Chris Dearden and Saul Becker, Growing up caring, Joseph Rowntree Foundation, 2000, p.5, Jo Aldridge and Saul Becker, Children who care, inside the world of youn carers, Loughborough University, 1993, p.xii, Saul Becker and als, Young carers and their families, Blackwell, 1998, p.13, Betty Newton and Saul Becker, Young carers in Southwark, the hidden face of community care, Loughborough University, 1996, p.7, Chris Dearden, The Social and educational impacts of caring on children, Primary Practice, No.13, January 1998, p.41, Birmingham Crossroads, Young carers, <http://www.xroadsbham.org.uk/youngcarers/>, Carers' Support, Young carers project, <http://www.carers-ashford.org.uk/youngcarers.htm>, Somerset and Wessex Eating Disorders Association, Young carers and eating disorders, <http://www.swedauk.org/leaflets/young.htm>, Worcestershire Young Carers Project, Community way-good causes, <http://www.worcesterccas.freeuk.com/youngcarers.htm>, LB of Waltham Forest, Young carers, <http://www.lbwf.gov.uk/index/care/caringforcarers/youngcarers.htm>, South West London and St George's NHS, Service users and carers, [http://www.swlstg-tr-nhs.uk/service\\_users/young\\_carers.asp](http://www.swlstg-tr-nhs.uk/service_users/young_carers.asp), North East Lincolnshire Council, Directorate of children's service policy, young carers' policy, North East Lincolnshire Council, 2004, p.3, City of London, Young carers, [http://www.citylondon.gov.uk/Corporation/LGNL\\_Services/Advice\\_and\\_benefits...](http://www.citylondon.gov.uk/Corporation/LGNL_Services/Advice_and_benefits...), North Lanarkshire Council, Strategy for carers 2005-2008, section 7, <http://www.northlan.gov.uk/your.council/policies.strategies.and.plans/social.ca...>, East Devon NHS, Help for young carers, <http://www.eastdevon-pct.nhs.uk/default.asp?st=2&pg=32>, County Durham and Darlington NHS, DISC young carers, <http://www.health-promotion.cdd.nhs.uk/index.cfm?articleid=8080>, One Community, Eastleigh young carers project, One Community, p.5, Carers Link, Am I a young carers? Carers Link, p.1, Crossroads Kent, What me, a young carers? Crossroads Kent, p.1, Carers Support Harrow, Young carers, information for professionals, Carers Support Harrow, 2005, p.1, Herefordshire Young Carers, Information pack, Herefordshire Young Carers, p.1, Moray Young Carers, <http://morinfo.moray.gov.uk/inform/published/communitycare/1615/1614.html>, East Riding County Council, Young carers, <http://www.eastriding.gov.uk/social.services/socialservices/carers/youngcarers.html>, Stirling Carers Centre, Under 18? do you help look after someone? how can we help? Stirling Carers Centre, p.1, Wisbech Children & Families Project, Who cares for young carers? do you know a young carers? Wisbech Children & Families Project, p.1, Glasgow North West Carers' Project, The Glasgow model, supporting young carers, an integrated approach, Glasgow North West Carers' Project, p.5, Calderdale Council, Young carers

service FAQs, Calderdale Council, 2000, p.1, PRT Highland Carers Centre, About young carers and the Highland carers project, are you busy to night? PRT Highland Carers Centre, p.3, Suffolk County Council, Young carers, Suffolk County Council, 2007, p.1, North Yorkshire County Council, Young carers, North Yorkshire County Council, 2006, p.1, Nottingham City Council, Young carers, Nottingham City Council, 2007, p.1, Nottinghamshire County Council, Caring for someone, Nottinghamshire County Council, 2007, p.1, Coventry City Council, Young carers project, Coventry City Council, 2006, p.1, Oxfordshire County Council, Carers, young carers aged under 18, Oxfordshire County Council, 2007, p.1, Bristol City Council, Young carers- support and advice, Bristol City Council, 2007, p.1, Greenwich Council, Young carers, Greenwich Council, 2007, p.1, Kent County Council, Definition of a carer, Kent County Council, 2007, p.1, City of York Council, Support for young carers, City of York Council, 2007, p.1, Isle of Anglesey County Council, Young carers, Isle of Anglesey County Council, 2007, p.1, Gwynedd Council, Young carers, Gwynedd Council, 2007, p.1, Cardiff Council, Cardiff Local Health Group, Cardiff & Vale NHS Trust, Cardiff Carers' Centre and al, Cardiff carers' plan, Cardiff Council and als, 2007, p.7, Powys County Council, Young carers, Powys County Council, 2007, p.1, City and County of Swansea, For Young carers, City and County of Swansea, 2007, p.1, North Ayrshire Council, Carers' right campaign-how to find help and information, North Ayrshire Council, 2006, p.1, South Ayrshire Council, Young carers, South Ayrshire Council, 2007, p.1, Argyll and Bute Council, Carers (Young Carers), Argyll and Bute Council, 2007, p.1, Renfrewshire Council, A Strategy for carers Renfrewshire, Renfrewshire Council, 2005, p.16, Lancashire County Council, Young carers, Lancashire County Council, 2007, p.1, Glasgow City Council, Joint young carers strategy, 2002-2005, Glasgow City Council, 2002, p.7, Clackmannanshire Council and NHS Forth Valley, Clackmannanshire childcare partnership, Clackmannanshire Council and NHS Forth Valley, 2006, p.59, Moray Council, Moray carers' strategy, 2007-2010, draft, 2007, p.24, Aberdeenshire Council, Young carers, Aberdeenshire Council, 2007, p.1, Dudley MBC, Young carers, Dudley MBC, 2007, p.1, Hackney, Carers strategy & action plan, 2007-2010 (draft 3.1), Hackney, 2007, p.6, The London Borough of Havering, Carers, LB of Havering, 2007, p.1, LB of Lambeth, Carers' assessment, LB of Lambeth, 2007, p.1, Borough of Poole, Young carers, what is a young carer?, Borough of Poole, 2006, p.1, Rochdale MBC, Young carers- support and advice, Rochdale MBC, 2007, p.1, Solihull MBC, Young carers support services, Solihull MBC, 2007, p.1, Stockport MBC, Carers, Stockport MBC, 2007, p.1, Swindon Borough Council, Who are young carers? Swindon Borough Council, 2007, p.1, LB of Tower Hamlets, Young carers, services for young carers, LB of Tower Hamlets, 2007, p.1, Walsall Council, Young carers, who are young carers? Walsall Council, 2007, p.1, Wakefield, Young carers, Wakefield Council, 2007, PRT Merton Carers Centre, Do you look after someone? are you aged 5-18?, PRT Merton Carers Centre, p.1, PRT Sunderland Carers Centre, Information pack, PRT Sunderland Carers Centre, young carers, p.1, PRT Falkirk and Clackmannanshire Carers Centre, Young carers project, PRT Falkirk and Clackmannanshire, p.1, Carers Forum Stirling area, Annual report 2000/2001, Carers Forum Stirling area, p.4, York and Selby District Carers Centre, Are you aged under 18 and do you help to look after someone in your family or do you know someone who does?, York and Selby District Carers Centre, p.1, CARD Carers Centre, Young carers group, CARD Carers Centre, p.1, PRT Aberdeen Carers Centre, Information pack, PRT Aberdeen Carers Centre, young carers, p.1, Northamptonshire Carers, Do you look after someone?, Northamptonshire Carers, p.1, Salford YCP, Are you under 21? do you help to look after a parent, relative friend or neighbour???? Salford YCP, p.1, PRT North and West Oxfordshire Carers Centre, Annual review 2000/2001, PRT North and West Oxfordshire, p.6, PRT Cheshire

Carers Centre, Newsletter, Issue 28, September 2001, PRT Cheshire Carers Centre, p.6, PRT Sunderland Carers Centre, Annual report April 1995 - March 1996, PRT Sunderland Carers Centre, p.11, PRT Hertfordshire Carers Centre, Support for young carers, PRT Hertfordshire Carers Centre, p.1, The Carers Association in South Tyneside, North Tyneside Carers Centre, PRT Sunderland Carers Centre and Gateshead Crossroads Young Carers, Young carers, they're here, supporting young carers in the North East, Lemon (video tape), NHS Borders and Scottish Borders Council, Information for carers, NHS Borders and Scottish Borders Council, 2001, p.103, The Carers Liaison Project, West Sussex carers information pack, The Carers Liaison Project, 2006, p.11, Hartlepool Borough Council, Information for carers, Hartlepool BC, 2006, p.26, West Sussex County Council, Carers strategy and action plan 2002-2005, West Sussex County Council, 2002, p.7, Kirklees Metropolitan Council, Carers handbook, Kirklees Metropolitan Council, 2006, p.10, Bury Metro, Carers strategy, Bury Metro, 2007, p.31, City of Stoke on Trent, Strategy for carers , 2005-2007, City of Stoke on Trent, 2005, p.6, Sefton Council, Sefton carers strategy, 2005-2008, Sefton Council, 2005, p.5, Rotherham MBC, Rotherham carers' strategy, 2005 to 2008, 2006 update, Rotherham MBC, 2006, p.5, Birmingham City Council, Help and support for you as a carer, Birmingham City Council, 2007, p.1, Warrington Borough Council, Services and support for carers, Warrington BC, 2007, p.1, Plymouth City Council, Support for young carers, Plymouth City Council, 2007, p.1, Portsmouth City Council, Young carers, Portsmouth City Council, 2007, p.1, Slough Borough Council, Carers, Slough BC, 2007, p.1, Leicester City Council, Carers, what we mean by a carer, Leicester City Council, 2007, p.1, Luton Borough Council, Young carers, Luton BC, 2007, p.1, LB of Hillingdon, Young carers, LB of Hillingdon, 2007, p.1, Wandsworth, Wandsworth Young carers project, Wandsworth, 2007, p.1, LB of Lewisham, Young carers, LB of Lewisham, 2007, p.1, LB of Camden, Young carers, LB of Camden, 2007, p.1, Workingham Borough Council, Information for carers, Workingham BC, 2007, p.1, Worcestershire County Council, Young carers, Worcestershire County Council, 2007, p.1, Warwickshire, Young carers, Warwickshire, 2007, p.1, Somerset County Council, Information for carers, Somerset County Council, 2007, p.1, Shropshire County Council, Young carers, 2007, p.2, Northumberland County Council, Young carers, Northumberland County Council, 2007, p.1, Northamptonshire County Council, Young carers, Northamptonshire County Council, 2007, p.1, Lincolnshire County Council, Carers, Lincolnshire County Council, 2007, p.1, Lancashire County Council, Young carers, Lancashire County Council, 2007, p.1, Hampshire County Council, Who are young carers? Hampshire County Council, 2007, p.1, East Sussex County Council, Young carers, East Sussex County Council, 2007, p.1, Dorset, Young carers, Dorset, 2007, p.1, Devon, Young carers, Devon, 2007, p.1, Derbyshire County Council, Young carers project, Derbyshire County Council, 2007, p.1, Cambridgeshire County Council, Young carers support workers, Cambridgeshire County Council, 2007, p.1, Cheshire County Council, Carers, Cheshire County Council, 2007, p.2, Trafford Council, Advocacy for carers, Trafford Council, 2007, p.1, Tameside Metropolitan District, Who are young carers? Tameside MD, 2007, p.1, Sunderland Metropolitan District, Carers, Sunderland Metropolitan District, 2007, p.1, Salford City Council, Young carers, Salford City Council, 2007, p.1, Oldham City Council, Young carers, Oldham City Council, 2007, p.1, Manchester City Council, Carers booklet-young carers, Manchester City Council, 2007, p.1, Liverpool City Council, Young carers, Liverpool City Council, 2007, p.1, Knowsley City Council, Young carers, Knowsley City Council, 2007, p.1, Gateshead City Council, Young carers, Gateshead City Council, 2007, p.1, Calderdale City Council, Young carers, Calderdale City Council, 2007, p.1, Barnsley Metropolitan Borough Council, Young carers, Barnsley MBC, Young carers, 2007, p.1, Norfolk County Council, Support for young carers in Norfolk, Norfolk Coun-

ty Council, 2006, p.2, Metropolitan Borough of Wirral, Working together: carers promoting meaningful partnership, Metropolitan Borough of Wirral, 2007, p.4, Northumberland County Council, Northumberland carers strategy, Northumberland County Council, 2007, p.2, PRT Angus Carers Centre, Angus young carers, PRT Angus Carers Centre, p.1, PRT Gloucestershire Carers Centre, Information pack, PRT Gloucestershire Carers Centre, p.1, PRT Greenwich Carers Centre, What does the Greenwich carers centre do? PRT Greenwich Carers Centre, p.2, Carers Bromley, A Carers is someone who, without payment, provides help and support to a friend, neighbour or relative who could not manage otherwise, Carers Bromley, p.1, PRT Northamptonshire Carers Centre, Young carers, PRT Northamptonshire Carers Centre, p.1, PRT Lincolnshire Carers Centre, Young carers, PRT Lincolnshire Carers Centre, p.1, Walsall Carers Centre, Who are carers? Walsall Carers Centre, p.1, Harrogate & Craren Carers Resource, Support for young carers, Harrogate & Craren Carers Resource, pp.1-2, Carers Association in Southern Staffordshire, Are you a young carer? Carers Association Southern Staffordshire, p.1, Carers Contactline, Young carers support project, Carers Contactline, p.1, Havering Association for People with Disability, Are you a young carer under 18, Havering Association for People with Disability, p.1, Hillingdon Carers, Young carers support project, Hillingdon Carers, p.1, Carers Support Merton, Help for young carers, Carers Support Merton, p.1, Wandsworth Young Carers Project, Young carers project, Wandsworth YCP, p.1, Norfolk Carers, Voluntary agencies supporting, Norfolk Carers, p.1, Cornwall Rural Community Council, Carers information pact, 2006 edition, Cornwall RCC, 13, Cornwall young carers project, Care for the Carers, East Sussex young carers services, Care for the Carers, p.1, Carers Centre Oxford, Young carers, Carers Centre Oxford, p.1, Action for Carers Surrey, Young carers Surrey, Action for Carers Surrey, p.1, Highland Community Care Forum, Young carers-we're here to help, Highland CCF, p.1, The Royal Borough of Kensington and Chelsea, Are you looking after someone at home? The Royal Borough of Kensington and Chelsea, p.1, City of Salford, Are you looking after someone? City of Salford, 1996, p.1, Dorset County Council, New rights for carers, Dorset County Council, 1996, p.3, Bolton Metro, New rights for carers, Bolton Metro, 1997, p.1, Cambridgeshire County Council, The Direction plus handbook, second edition, Cambridgeshire County Council, p.12, Buckinghamshire County Council, Assessment for carers, a guide for people looking after a dependent person, Buckinghamshire County Council, 1997, p.1, Denbighshire County Council, Help for ... carers, Denbighshire County Council, 1999, p.2, Kirklees Metropolitan Council, Working with carers, good practice for assessors, Kirklees Metropolitan Council, p.2, Newham Council, Are you 18 or under? Newham Council, p.1, Carmarthenshire County Council, Background, Carmarthenshire Council, 2007, p.1, Torbay NHS Care Trust, Young carers, Torbay NHS Care Trust, 2007, p.1, Tameside MBC, Who are young carers? Tameside MBC, 2007, p.1, Young Carers Service Carers Centre, Support for young carers, Young Carers Service Carers Centre, p.1, PRT Hambleton and Richmond Carers, Young carers project, PRT Hambleton and Richmond Carers, 2007, p.1, Newry and Mourne Carers, Strategic plan 2006-2009, Newry and Mourne Carers, 2006, p.6, Perth & Kinross Association of Voluntary Service, Helping others to help others, Perth & Kinross Association of Voluntary Service, 2007, p.5, A Letter from Katy Webster (Angus Carers Centre) to Kiyoshi MITOMI dated 26<sup>th</sup> September 2007, Norfolk Carers Partnership, Support for young carers in Norfolk, Norfolk Carers Partnership, 2006, p.1, Sheffield City Council, Help for young carers in Sheffield, Sheffield City Council, 2007, p.1, Barnsley MBC, Young carers, Barnsley MBC, 2007, p.1, Newham Carers Network, Young carers project, Newham Carers Network, 2007, p.1, Isle of Wight Council, Strategy for carers, 2006-2010, Isle of Wight Council, 2006, p.4, Bury Metro, Breaks for young carers, Bury Metro, 2007, p.1, LB of Barking & Dagenham,

Adult and community services, young carers, LB of Barking & Dagenham, 2007, p.1, Brent Council, Young carers, Brent Council, 2007, p.1, LB of Bromley Council, Young carers, LB of Bromley Council, 2007, p.1, LB of Enfield, Carers support, LB of Enfield, 2007, p.1, Hammersmith & Fulham and Hammersmith and Fulham NHS, A Carers' strategy for Hammersmith & Fulham, 2005-2010, Hammersmith & Fulham and Hammersmith and Fulham NHS, 2005, p.7, LB of Redbridge, Redbridge strategy for carers, 2005-2007, LB of Redbridge, 2005, p.1, LB of Richmond upon Thames, Young carers support, LB of Richmond upon Thames, 2007, p.1, Wandsworth Council, Young carers, who is a young carer? Wandsworth Council, 2007, p.1, Leicestershire County Council, Young carers, service description, Leicestershire County Council, 2007, p.1, Medway Council, Carer support, what is carer? Medway Council, 2007, p.1, Northumberland County Council, Young carers, Northumberland County Council, 2007, p.1, Oxfordshire County Council, Carers, Oxfordshire County Council, 2007, p.1, Redcar & Cleveland Council, Definition of a carer, Redcar & Cleveland, 2007, p.1, Shropshire Council, Young carers (children and young people with caring responsibilities), a joint strategy for Shropshire, Shropshire Council, 2007, p.4, Sheffield City Council, Help for young carers in Sheffield, Sheffield City Council, 2007, p.1, Stoke-on-Line City Council, Young carers, Stoke-on-Line City Council, 2007, p.1, Coventry City Council, Young carers project, Coventry City Council, 2007, p.1, Doncaster MBC, Carer's assessment, Doncaster MBC, 2007, p.1, Worcestershire County Council, Young carers, Worcestershire County Council, 2007, p.1, Renfrewshire Council, Information for young carers, Renfrewshire Council, 2007, p.1, Caerphilly County Borough Council, Young carers have serious fun, Caerphilly CBC, 2007, p.1, Isle of Anglesey County Council, Help and support for carers, Isle of Anglesey County Council, 2007, p.1, Carmarthenshire County Council, Carer services, Carmarthenshire County Council, 2007, p.1, Conwy County Borough Council, The Conwy carers' strategy, meeting the needs of carers in Conwy, Conwy CBC, 2006, p.6, Gwynedd Council, Young carers, are you a young carer? Gwynedd Council, 2007, p.1, Rhondda Cynon Taf, Young carers, Rhondda Cynon Taf, 2007, p.1, Torfaen Council, Young carers, Torfaen Council, 2007, p.1, Aberdeenshire Council, Young carers, Aberdeenshire Council, 2007, p.1, North Ayrshire Council, Carers' rights campaign-how to find help and information, North Ayrshire Council, 2007, p.1, Angus Council and NHS Tayside, Angus carers strategy, 2003, Angus Council and NHS Tayside, 2003, p.10, Wakefield Metropolitan District Council, Young carers, Wakefield MDC, 2007, p.1, Gloucestershire County Council, Services for people looking after someone, Gloucestershire County Council, 2007, p.4, Newcastle City Council, Young carers, Newcastle City Council, 2007, p.1, The National Youth Agency, Young carers, who are young carers? The National Youth Agency, 2007, p.1, Eastleigh Community Service, What is the young carers project, Eastleigh Community Services, 2007, p.1, Inverclyde Council, Young carers, Inverclyde Council, 2007, p.1, Shetland Islands Council, Young carers, Shetland Islands Council, 2007, p.1, Neath Port Talbot Council, Are you a young carer? Neath Port Talbot Council, 2007, p.1, Isle of Anglesey County Council, Help and support for carers, Isle of Anglesey County Council, 2007, p.1, Royal Borough of Windsor and Maidenhead, Young carers, Royal Borough of Windsor and Maidenhead, 2007, p.1, Eastleigh Borough Council, Support and advice for young people, Eastleigh BC, 2007, p.2, Ceredigion County Council, Carers, Ceredigion County Council, 2007, p.1, Carmarthenshire Social Care & Housing Department, Are you a carer? Carmarthenshire Social Care & Housing Department, 2007, p.3, Plymouth City Council, Support for young carers, Plymouth City Council, 2007, p.1, Bath & North East Somerset Council, Adult carers, looking after a relative or friend, Bath & North East Somerset Council, 2007, p.2, Southend-on-Sea Borough Council, Young carers, Southend-on-Sea Borough Council, 2007, p.1, Wansbeck District

Council, Young carers, Wansbeck District Council, 2007, p.1, Hartlepool Borough Council, A Multi-agency strategy for carers in Hartlepool, 2006-2007, Hartlepool Borough Council, 2006, p3, Chesterfield Borough Council, Advocacy for carers, Chesterfield Borough Council, 2007, p.1, Chesterfield Borough Council, Young carers, Chesterfield Borough Council, 2007, p.1, Hull City Council, Young carers, Hull City Council, 2007, p.1, Warrington Borough Council, Services and support for carers, Warrington Borough Council, 2007, p.1, Burnley Borough Council, Young carers, Burnley Borough Council, 2007, p.1, Blackburn with Darwen Borough Council, Young carers, Blackburn with Darwen Borough Council, 2007, p.1より作成。

(注) (1) children, young person等と表記する限りで、子どもの年齢を具体的に示すわけではない。

(2) 「相当」や「重大」など介護負担が明らかに重いとの表現を採用せず、介護負担の比較的軽い子どもを包括する表現をさす。

定義における相違に注目するからといって、そこに共通性が認められないわけではない。子どもの家族を含む血縁者を要介護者にすることは、ひとつの例外もなしに全ての定義がこれを文言の一部に加える。また、「相当な介護をいつも担う」あるいは「生活を制限される」など具体的な表現をやや異にするとはいえ、介護を担うことが子どもに何らかの負の影響を及ぼすであろうことを直接的もしくは間接的に示す定義であることも、共通する。身体的にはもとより精神的にも発達の最中にいる子どもが介護を担うことによって負の影響を被ることに着目し、かかる状態の克服を実際上の課題として認識すればこそ、介護を担う子どもに関する定義を成人の介護者に関するそれとは独自に試み、これを共通の出発点にしながら調査研究が重ねられ、あるいは政策上の対応や実際の支援が試みられる。

介護を担う子どもに関する定式化には、強い反対の主張もある。それは、障がいを抱える親やその団体からの批判である。94年から95年にかけて繰り返し主張される。かかる批判が、関係する団体のネットワークを通して開陳されることはもとより、学術雑誌に掲載の論稿や保健省主催の研究討論集会における独自の報告などとしても展開されたこと<sup>(14)</sup>は、その影響が小さくないことを示すに充分である。主な批判の論点は2つである。そのひとつは、調査の方法に対する批判である。80年代末葉から90年代初頭にかけて行われた調査は、一つの例外もなく規模のいかにも小さいそれであり、その代表性に疑問があるとの指摘である。いまひとつは、政策方向に関する批判である。障がいを持つ親に必要なサービスが届けられるならば、その自立性が担保されることから、子どもによる介護は不要になる。これは、子どもの権利を守るために最も良い方法である。子どもは、親の介護など望んでもいい。にもかかわらず英国介護者協会などは、障がいを持つ親による権利の行使を問題にすることなく、専ら介護を担う子どもへの対応に腐心するばかりである。このうち後者の論点は、ひとり介護を担う子どもに止まらず、広く介護者の概念化に反対する場合に示されるそれでもある。

S.ベッカー等がかかる批判に対して反論を寄せることは、言うまでもない<sup>(15)</sup>。著者は、先の議論

に批判的である。

第1に、介護を担う子どもに関する初期の調査は、そのことの故に調査の代表性を担保する上に特段の難しさを抱えることを知らなければなるまい。介護を担う子どもの存在を知り、調査への協力を取り付けることは、当の子どもはもとより要介護者としての親の心情を推し量るならば、至って困難である。まして、そうした子どもと日々接するであろう教師にあってさえ、子どもが要介護者の世話を当たっていることなど、特別の知見のない限り知るまい。しかば教師の協力を得ることも難しい。

第2に、初期の調査において確かめられた幾つかの事実は、90年代中葉以降に実施される全国規模の調査においても同じように確認される。88年に実施された2つの調査は、介護を担う子どもの抱える問題としてストレスや集中力の欠如あるいは睡眠の中止などにも示される健康上の問題をはじめ友人からの孤立、学校への遅刻や欠席に象徴される教育上の問題などについて指摘する<sup>(16)</sup>。これらの問題は、S.ベッカー等が95年と97年及び2003年に手掛けた全国規模の調査<sup>(17)</sup>によっても、同様に確認される。全国統計局『国勢調査』(2001年版)が、後に触れるように介護を担う子どもの健康上の問題に関する調査結果をその一部に伝えていることも、あわせて指摘しておきたい。してみると初期の調査といえども、一定の有効性を担保するのである。

第3に、要介護者の地域における暮らしを構想するならば、負担の多寡はともかくとしてその世話を当たる介護者の存在を必要な条件にする。要介護者の自立性の担保が、有償のサービスによって全て賄われる事態は、施設介護ならともかく少なくとも地域における暮らしに即して考えるならば、脱商品化の効果が最も高い普遍主義的な国家類型においてさえ存在しない。先の批判は、こうした現状を念頭に置きながらサービスの再構成には踏み込んでいるとは言い難い。

介護を担う子どもとそのニーズの定式化に批判的な団体や研究者と、これとは反対にかかる子どもの権利の尊重に積極的な姿勢を取る団体や研究者との時に激しくくり返された論争は、無用な結末をもって終わるわけではない。むしろ家族全体へのアプローチ (whole family approach) あるいは家族志向のアプローチ (family-oriented approach) と称される政策上の見地を新たに切り拓き提起することになる。障がいを持つ親たちが自らを対象にする政策の立案と展開を専ら主張したとすれば、介護を担う子どもに関する定式化に積極的な団体や研究者は、少なくとも調査研究の初期の段階においてややもすると子どもへの政策的な対応に終始するきらいが認められる。家族全体へのアプローチは、要介護者を直接の対象にするサービスとその給付も視野に收め、これによって介護を担う子どもの負担を軽減する条件を担保しながら、あわせて子どものニーズにかかるべく対応しようとする見地である。これは、デイビッド・チャンベル (David Campbell) によって紹介され、その後保健省によても95年に採用される<sup>(18)</sup>。また、論争の一方の当事者であるS.ベッカー等が、介護を担う子どもを専ら視野に收めていた初期の見地に一定の反省を加え

ながら、家族全体へのアプローチに親和的な態度に転換したことは、介護を担う子どもに関する政策上の諸課題を論ずるに当たって、まずもって「多くの家族が社会サービスを全くもしくは殆んど受けていない」<sup>(19)</sup>と指摘することからも、容易に推察される。家族全体へのアプローチは、研究者に止まらず英国介護者協会を含む民間非営利諸団体に広く共有され、介護を担う子どもへの支援の理論的な拠り所として影響を及ぼすことになる。

## 2. 介護者化の要因と規模及び構成

子どもが介護を担う要因は、一義的ではない。それは、両親などの疾病もしくは障がいの性格をはじめ家族の構成、要介護者とその世話に当たる子どものサービス受給など多岐にわたる。

親の一方もしくは双方の疾病あるいは障がいの発症は、その子どもにとって介護者化の引き金である。親が身体障がいや知的な障がいを抱えるとき、あるいは家族の願いに反して薬物やアルコールの乱用状態にあるならば、日常生活上の援助が必要になり、子どもを含む家族のいずれかによる介護者化を迫られる（表6-2）。子どもが親の介護を担うとき、責任の度合いと期間は、親の疾病や障がいに左右される。親が重度の疾病や障がいを抱えるならば、介護者の責任は重い。他方、生活上の自立を何とか維持しうる程度の状態にあるならば、サービスの給付と併せて生活を営むことが可能であることから、介護を担う子どもの負担は総じて軽い。親の一方もしくは双方が、その意思に反して疾病や障がいを抱えると、本来ならば親に委ねられる幼子の保育もあわせて問題になる。年長の兄や姉が、家事援助とあわせて弟や妹の保育に当たることになる。これは、成人の介護者には多くの場合に認めることのできない特徴である。

家族の構成も重要な要因のひとつである。介護を担う子どもの多くは、一人親と共に暮らす。これは母子家庭であることが多い（表6-3）。一人親が疾病を患い日常生活上の援助を必要にする場合においてさえ、そこに要介護者の世話に当たる大人の配偶者はいない。本来ならば大人によって履行されるはずの責任は、子どもの双肩に圧し掛かる。しかし、これは、両親のいる家族の子どもが介護責任と無縁の存在であることを意味しない。父親が就業状態の継続とこれによる所得の確保を事由に、介護を拒否することもある。父親としての扶養責任の履行を少なくとも経済的な側面に関して全うすることを引き合いに出しての拒否である。そこには、連れ合いの介護を子どもに委ねようとする思惑が顔をのぞかせる。極端な場合には、父親が家族と共に過ごしてきた住居を後にすることもある<sup>(20)</sup>。これは、父親としての扶養責任の完全な放棄である。子どもがこれらの環境に身を置くならば、介護者化は、逃れるわけにいかない唯一の選択肢である。父親に開かれ実際に選び取られた選択肢は、子どもには無縁の存在である。子どもは、父親の居なくなつた家族にあって母親の悲しみにも想いを馳せながら、すすんで介護の役割を担おうとする。それは、自発的な選択であるように見える。

表6-2 子どもの看る要介護者の疾病もしくは障がい等の形態別構成(1994-2007年)

(単位；人、%)

	1994-2007年 <sup>(2)</sup>		1997年 <sup>(3)</sup>	2003年 <sup>(3)</sup>
	実 数	比 率	比 率	比 率
身体障がい	994	45.7	57	50
精神上の健康問題	511	23.5	25	29
知的障がい	213	9.8	11	17
薬物やアルコールの乱用	129	5.9		
兄弟姉妹の見守り <sup>(1)</sup>	53	2.4		
末期患者	49	2.3		
知覚障がい	45	2.1	3	3
自閉症	41	1.9		
認知症	20	0.9		
その他	120	5.5	3	
計	2,175	100.0	100	100

(資料) Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, CNA, 1998, p.2, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, Carers UK, 2004, p.6, Barnardos, Easington young carers, 1997-1998, annual report, Barnardos, 1998, p.11, Barnardos, Easington young carers, preliminary report, Oct 1996 - May 1997, Barnardos, 1997, p.10, Barnardo's North West, Action with young carers project, annual report 2001-2002, Barnardo's North West, 2002, p.10 and p.19, Young Carers in Lawrence Weston, Progress report and evaluation of an initiative by Barnardos young carers scheme and Lawrence Weston youth project, Young Carers in Lawrence Weston, 1999, p.8, Bardordo's North West England, Annual report 1999/2000, Barnardo's North West England, 2000, p.13, Barnardos North West, Action young carers project, annual report 1998/99, Barnardos North West, pp.7-8 and pp.18-19, Barnardos North West, Barnardos action with young carers, annual report 1996-1997, Barnardos North West, 1997, p.10, p.12 and p.14, Barnardos North West, Action with young carers, annual report 1997/98, Barnardos North West, 1998, p.9, p.11, p.22 and p.37, Off the Record, The YCP, Bath and North East Somerset, six month report, December 1996-June 1997, Off the Record, 1997, p.8, Carers' Centre for Brighton and Hove, Young carers audit 1999, main finding and recommendations, Carers' Centre for Brighton and Hove, 2000, p.3, Barnardos, Bristol young carers scheme, annual report 1998-1999, Barnardos, 1999, p.6, Barnardos, Bristol young carers scheme, annual report 1997-1998, Barnardos, 1998, pp.24-26, Buckinghamshire Young Carers Projects, Young carers, 1998-2001, Buckinghamshire YCP, 2001, pp.10-11, Cheshire County Council, NHS North West Executive and Crossroads, Young carers in Cheshire, Cheshire County Council and als, 1996, p.14, DISC, Young carers, DISC, 1999, p.1 and p.13, Barnardos, Easington young carers, 1998-1999, annual report, Barnardos, 1999, p.10, Greenwich YCP, Time for young carers, today and forward to the millennium, Greenwich YCP, 1996, p.18, Elizabeth Clark, Young carers in Guildford, young carers research project (Guildford), Guildford YCP, 1996, appendix 6 and appendix 12b, Carers in Hertfordshire, Young carers, Carers in Hertfordshire, p.12, Kingston Carers Network's, Tenth anniversary, annual report and accounts, 1<sup>st</sup> April 2000 to 31<sup>st</sup> March 2001, Kingston Carers Network's, 2001, p.13, Eric Blyth and als, Kirklees

YCP, October 1994 - June 1995, report to Kirklees Metropolitan Council, Kirklees YCP, 1995, p.19, Eric Blyth and als, Kirklees YCP, July 1995 - July 1996, report to Kirklees Metropolitan Council, Kirklees YCP, 1996, p.13, Leeds City Council and PRT Leeds Carers Centre, Young carers pilot project report, Leeds City Council and PRT Leeds Carers Centre, 1999, p.21, Share the Care, Young carers' project, evaluation, Share the Care, 1997, p.2, Macclesfield Young Carers Project, 1995-1998, a summary of learning and work undertaken during three year joint finance funding, Macclesfield YCP, 1998, p.12, Merton YCP, Final report, Merton YCP, 1999, p.10, Off the Record, Young carers report, April 1997 to end March 1998, Off the Record, 1998, p.2, A Letter from Frank Roper (Newham Council) to Kiyoshi MITOMI dated 9<sup>th</sup> February 1998, p.1, Northamptonshire Carers Association and Daventry & South Northants, Young carers, an evaluation, Northamptonshire Carers Association and al, 1996, p.9, Allison Waddell, an Evaluation of the Oldham YCP, February 1995 - December 1996, Oldham YCP, 1997, p.10, Mid Surrey Project for Young Carers, Progress report; February 1997 - March 2000, Mid Surrey Project for Young Carers, 2000, p.2, City of Wakefield Metropolitan District Council and als, Wakefield district young carers annual report 1997-1998, Wakefield MDC and als, 1998, p.11, Barking & Havering HA and als, The Young carers experience, conference report, Barking & Havering HA and als, 1999, appendix C, Jenny Frank, Couldn't care more, a study of young carers and their needs, The Children's Society, 1995, p.6, Alison Bullough, Not too young to care, Brighton & Hove young carers pilot project, September 1995 - October 1996, The Carers' Centre, 1997, p.12, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers at the crossroads, an evaluation of the Nottingham YCP, Loughborough University, 1996, p.23, Conwy YCP, Annual report 2006-2007, Conway YCP, 2007, p.1より作成。

(注)(1) 健常児の見守りあるいは保育を含む。

(2) 各地の介護を担う子どもの支援事業に照会された子どもに関する計数である。

(3) S.ベッカー等による全国調査の結果である。97年と2003年の計数とも100にならないが、表記の通りである。

表6-3 介護を担う子どもの看る要介護者並びに家族の状態(1995年、1997年、2003年)

(単位: %)

	1995年			1997年			2003年		
	一人親 家族 (A)	両親の居 る家族 (B)	計 (C)	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)
母親	74	45		71.3	43.7	57.8	70	44	59
父親	10	27		7.2	20.2	13.6	7	26	16
兄弟姉妹	13	22		17.3	31.7	24.3	24	46	33
祖父母	4	5		3.5	4.0	3.7	6	4	4
他	0	1		0.7	0.4	0.6	2	3	3
計	100	100		100.0	100.0	100.0			

(資料) Chris Dearden and Saul Becker, Young carers, the facts, CNA, 1995, p.14, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, CNA, 1998, p.11, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, Carers UK, 2004, p.5より作成。

(注)(1) 介護を担う子どもの中には複数の要介護者の世話を当る子どもの居ることから合計が100にならない場合もあるが、そのまま表記している。

子どもは、保護者に扶養される地位にある。子どもとしての地位にあることから、要介護者の世話を親に命じられることもある。これを拒否することもままならず、日常生活上の援助を親の指示に沿って受け容れることになる。

介護をする両親とその子どもに対する援助の在りようは、子どもの介護者化とその責任に重要な影響を与える。日常生活上の援助が広く社会に担われるからであり、介護者のニーズに対応するサービスが届けられるならば、その負担も自ずと軽くなるからである。しかし、援助は、両親や子どもの期待に反して芳しからざる状態にある。

障がい者の結婚は珍しくない。子どもを持つ障がい者の家族は、一人親家族とりわけ母子家庭と共に所得階層の最も低い階層に属することが多い。これは、S.ベッカー等が明らかにした<sup>(21)</sup>ように所得の源泉に即して言えば、社会保障給付を唯一の源泉にする家族が多く、住居の形態別に言えば公営住宅への入居者が多いと言い換えることもできる。外部のサービスを購入する経済的な可能性は、家族の期待に反しておのずから薄い。家族は、充分な原資を持たないことから私的な介護への過度の依存を避けるために公的部門や民間非営利団体による援助に希望を抱く。しかし、障がい者を含む要介護者への家事援助はもとより対人サービスの給付は、60年代中葉以降の調査が繰り返し明らかにする<sup>(22)</sup>ように不足の状態にある。介護者としての子どものニーズを承認しこれに応えることを期待されるソーシャルワーカーや教師の対応も、少なくとも90年代までに関する限り充分とは言い難い。援助の芳しからざる状況は、要介護者を対象にするものであれ子どもを対象にするものであれ、いずれの場合にもその負担を日常生活上の世話を当たる子どもの双肩に押し当てる。

介護を担う子どもの数は、90年代中葉まで知られていない。これには相応の理由が伴う。第1に、介護者に関する統計局の調査としては最初のそれである『一般世帯調査』は、既に述べたように85年の調査に際して16歳以上の介護者だけを対象にする。16歳未満の子どもは、要介護者の一類型として調査に登場するとはいえ、介護者として調査の対象に組み込まれるわけではない。第2に、16歳未満の子どもは、介護者手当の受給資格を持たない。政府は、介護者手当の受給状況に関する計数を手当の制度化以降定期的に公表する。介護者に関する全国規模の統計の一つである。16歳未満の子どもは、手当の受給要件に照らしてこの統計に含まれない。これを手掛かりにする規模の計数化も不可能である。最後に、介護を担う子どもを擁する家族は、その状態が世間に知られるならば家族の分断を招くのではないかと心ひそかに恐れ、子どもの状態を社会に伝えようとはしない。介護を担う子どもが見えざる存在となる理由のひとつも、ここにある。

介護を担う子どもの問題が各地の調査を通して知られるにつれ、その規模を明らかにする作業も相次いで試みられる。

最初の試みは、サンドウィル市とタームサイド州において実施された2つの調査結果を拠り所にする作業である。推計の結果は、全国的に1万人の介護を担う子どもの存在である。しかし、例え

ばサンドウィル市の調査は、中等学校に通う11歳から18歳の生徒を対象にしており、10歳以下の子どもは対象から除かれる<sup>(23)</sup>。かかる調査を扱り所にする推計作業は、最初の試みとしていかにも貴重であるとはいえ、おのずと規模の過小評価を免れない。

1万人から2万人の規模推計は過小評価であるとして、1万5,000人から4万人の推計結果を示す作業も、後に行われる<sup>(24)</sup>。これは、セフトン市 (City of Sefton) とセント・ヘレン市 (City of St. Helens) 及びノーズリー市 (City of Knowsley) の3つの市に展開される介護を担う子ども支援事業を扱り所に行われた作業である。すなわち、支援事業に介護を担う子どもとして照会され、そうした社会的な存在として確認された子どもの数を扱り所にする作業である。照会される子どもの数は、支援事業の展開につれて一般に増加の傾向を辿る。しかし、援助を展開する地域がなお限られる現状を思い起こすならば、これが、介護を担う全ての子どもを捕捉するとは言い難い。確認された子どもが全体の中でいかなる比重を占めるのか、これも残念ながら不明である。ならばかかる推計作業から導かれる計数も、過小評価を含めて実際との齟齬を免れない。

これに類似の結果、すなわち介護を担う子どもは少なく見積もっても1万9,000人から5万1,000人を数えるとの推計結果も公表される。この作業は、これまでに紹介の推計作業に較べるならば大きな特徴を持つ。すなわち、これに先立つ推計作業は、多くの場合に介護者支援グループや自治体社会サービス部と接触を取りそれとして確認された子どもを標本にする。それゆえに大規模な人口を視野に収めるものではない。しかし、アリソン・ウォルカー (Alison Walker) の作業は、この限界を克服するべく全国統計局の協力を得て行われる。この作業に従えば介護を担う子どもは、8歳から17歳の子どもの0.27%から0.72%に相当する規模を数える。

しかし、この作業には2つの限界があることを指摘しなければならない。まず、この作業を手掛ける研究者が報告書の中で明示するように8歳から17歳の子どもを対象にしており、7歳以下の子どもは除外される。しかも、介護を担う8歳から17歳の子どもに限ってさえ週5時間未満並びに週5時間以上10時間以下の子どもは、推計作業から除外される<sup>(25)</sup>。これは、保健省の定義に習って相当な介護を担う子どもだけを介護を担う子どもとして定義付けることに伴う計数の処理である。推計作業は、これらの2つの意味において介護を担う子どもの規模を過小に評価することになる。

その後、これらとは明らかに異なる作業も生まれる。そのひとつは、介護者に関する統計局としての最初の調査である『一般世帯調査』85年版を利用する作業である。16歳以上の介護者の幼少時における介護経験に関する計数に着目する作業である。これに従えば16歳以上35歳以下の介護者の17%は、16歳の誕生日を迎えるに先立って介護の責任を負う。これは、計数にして21万2,000人が、子ども時代に介護を担ったことを意味する<sup>(26)</sup>。いまひとつは、18歳以上24歳以下の年齢階層に属する人々の4%、実数にして17万3,040人は、子ども時代に疾病もしくは障がいを抱える血縁者の介護にいつも携っていた、との分析である<sup>(27)</sup>。

以上の推計作業がいざれも直接には研究者のそれであるのに対して、スコットランド行政庁による最初の公式な推計作業も行われる。これは、『スコットランド世帯調査』99年版を拠り所にする作業である。これに従えばスコットランドにおける介護者の1%、実数にして6,000人は、16歳以下の年齢階層に属する<sup>(28)</sup>。

この公式の推計作業をイギリス全体に応用できるとすれば、介護を担う16歳以下の子どもは、介護者総数680万人（2000年）の1%、すなわち6万8,000人を数えることになる。

介護を担う子どもの規模を巡って10年以上の長きにわたって続いた各種の推計作業は、『国勢調査』2001年版の公表される2004年を以って一応の終止符を打つことになる。ちなみに『国勢調査』の結果は、介護を担う子どもの規模を過小に伝えているのではないかとの指摘も少なくないといえ、かかる批判を出発点に独自の推計作業が行われるわけではない。一応の終止符とは、こうした意味である。そこで、『国勢調査』の結果に従うならば、スコットランドの5歳以上17歳以下の介護を担う子どもは、実数にして1万6,701人、介護者全体（47万9,934人）との対比では3.48%を占める<sup>(29)</sup>。スコットランド行政庁の2001年に公表された推計結果よりも実数にして1万人以上、比率にしておよそ2.5%いざれも上まわる。さらに、介護を担う子どもの総数は、介護者総数567万4,502人の2.9%に当たる16万6,643人である<sup>(30)</sup>。これは、スコットランド行政庁の公式推計を拠り所にするイギリス全体の推計結果のおよそ2.5倍に当たる規模である。研究者による推計の中では17万3,040人の計数を示した作業に最も近い結果である。

介護を担う子どもの性別構成は、『国勢調査』に従えば女性が過半を占める（女性53.8%、男性46.2%、2001年）。これは、S.ベッカー等による全国調査の結果とも類似する（女性61%、男性39%、95年、以下同じく57%、43%、97年、56%、44%、2003年）<sup>(31)</sup>。これらの構成は、介護者全体の性別構成（女性58.0%、男性42.0%、2001年）にほぼ重なり合う。介護を担う子どもの多くは、人種や民族別には白人である（90%、95年、86%、97年、84%、2003年）。しかし、見られるように少数民族に属する子どもの比率は、これらの子どもを対象にする支援事業の広がりと共に上昇傾向を記録することも、これまた確かである。少数民族に属する子どもの中では、アフリカ系カリブ人が最も多い（5%、95年、7%、97年、他にパキスタン人、バングラディシュ人、アジア人等）。

少数民族に属する子どもが介護を担うことは、介護者を巡る議論の経緯に照らすならば正当に記憶されなければならない。

少数民族における介護については、長い間根拠の薄い通念が支配してきた。拡大家族の制度に依拠して暮らしを営むことができると考えられてきたのである。しかし、かかる援助は稀であるばかりでなく、家族の構成人員も少ない。一人親家族は、カリブ系黒人やアフリカ系黒人において特に多く（23.5%、19.8%）、これを含めて少数民族における一人親家族の平均的な比率は高い（14.7%、2001年）。これらは、イギリス系白人の一人親家族（9.2%）をいざれも優に上回る<sup>(32)</sup>。子ど

もが介護を担うことへの要請は、通念に反して自ずと強まらざるを得ない。さらに、介護を担う子どもに関する少なくとも初期の調査研究は、こうした通念にも影響されて専ら白人の子どもを対象に行われる。少数民族の子ども達が、同じ年齢階層に属する白人の介護者と類似の体験を余儀なくされているのか否か、あるいは、独自の文化的な規準に促されて異なる期待を背負いながら要介護者の世話を当たるのか否かについて、長い間未知の事柄であり続ける。少数民族に属する子どもの介護者化が、90年代中葉以降の全国規模の調査に従って相次いで確認されたことは、通念の変更を迫ると共に、これらの子どものニーズを明らかにし必要な支援策を練り上げる上において重要な意味を持つ。

### 3. 介護作業の形態と影響

子どもの担う介護作業は、一般に6種類に区分される。それは、調理や清掃、アイロンかけ等の家事援助をはじめ与薬や衣服の着脱、移動の介助等の作業、要介護者の見守りや励まし等の情緒面の支援、体の清拭や排泄の介助等の身体介護、幼い妹や弟の保育、最後にその他として英語を第一言語にしない要介護者への通訳や金銭の支払い等である。

家事援助は、子どもが最も広く担う介護作業である（表6-4）。家事援助は、介護を担う子どもにとって日常生活のごくありふれた行為である。家事援助の行為者率は、要介護者の疾病や障がいの形態別には、身体障がい者の世話に当たる子どもについて最も高く、知的障がい者を見る子どもについて低い（70%、39%、他に精神障がい者62%、知覚障がい者59%、95年）<sup>(33)</sup>。かかる行為者率は、要介護者とは別の成人が家族に居るならば低下する。

表6-4 介護を担う子どもの介護作業(1995—2003年)

(単位：人、% )

	1996—2000年		1995年	2003年 <sup>(2)</sup>		
	実数	比率		男性	女性	計
家事援助	362	55.4	65	65	75	68.3
与薬、衣服の着脱等	308	47.1	61	44	45	47.8
見守りや励まし	240	36.7	25	77	78	82.0
排泄の介助等	54	8.3	23	13	22	17.8
介護の他に保育	164	25.1	11	8	12	11.2
他	35	5.4	10	—	—	—
計 <sup>(1)</sup>	654					

(資料) Young Carers in Lewrence Weston, Progress report and evaluation of an initiative by Barnardos young carers scheme and Lawrence Weston Youth Project, Young Carers in Lewrence Weston, 1999, p.8, Barnardo's North West England, Annual report 1999/2000, Barnardo's North West,

2000, p.13, Barnardos North West, Action young carers project, annual report 1998/99, Barnardos North West, 1999, p.7 and pp.16-17, Barnardos North West, Barnardos action with young carers, annual report 1996-1997, Barnardos North West, 1997, p.15, Barnardos North West, Action with young carers, annual report 1997/98, Barnardos North West, 1998, p.11, p.21, chart 6 and p.37, Carers in Hertfordshire, Young carers, Carers in Hertfordshire, pp.11-12, South Cheshire Crossroads, Research into young carers South Cheshire and Vale Royal (brief summary of results), South Cheshire Crossroads, p.2, Crossroads Association in South Tyneside, Young carers conference report, Crossroads Association in South Tyneside, 1999, p.3, Suffolk Young Carers, Project evaluation, Suffolk Young Carers, 1977, pp.18-19, City of Wakefield Metropolitan District Council, and als, Wakefield district young carers, annual report 1997-1998, Wakefield MDC and als, 1998, p.9 and p.11, Natasha Munoz, Young carers and their families in Westminster, Westminster Carers Services, 1998, p.8 and p.13, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, op.cit., p.14 and p.36, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, op.cit., pp.7-8 より作成。

(注) (1) 殆んどの子供が幾つかの介護作業を行うことから、合計は100にならない。

(2) 2003年の性別に関する数と計のそれとはやや異なる場合があるが、そのまま表示している。

与薬や衣服の着脱等の作業は、家事援助と同じように介護作業の一般的な形態である。これらの行為者率は、身体障がい者の世話に当たる子どもについて最も高く、精神障がいを患う要介護者を見る子どもについて低い(71%、48%、知的障がい者63%、知覚障がい者59%、95年)。これらの行為者率は、家事援助と同じように要介護者とは別の成人が家族に居るならば自ずと低下する。これは、要介護者の疾病や障がいの形態を問わない。

身体介護は、5人中1人程の子どもに担われる。これは、子どもはもとより要介護者としての親にとって最も難しい作業である。体の清拭などに示される身体介護であるだけに両者の当惑を呼び、時に紛糾の種になる。しかし、家族に要介護者以外の成人が居なければ、選択肢は自ずと限られる。身体介護といえども子どもの肩に圧し掛かる。

介護を担う子どもは、疾病を患いあるいは障がいを抱える人の世話に当たると共に、これに加えて弟や妹の保育に携わることもある。両親が居るならば、子どもによる保育の可能性は薄い。他方、一人親家族の子どもが通常の介護作業に加えて保育の責任を負う可能性は、高い。

性別の役割分担は、子どもの担う介護作業にも投影される<sup>(34)</sup>。これは、前出の表6-4からも読み取ることができる。注目すべきは、家事援助と身体介護の2つの形態に行行為者率の顕著な性別格差が記録されることである。これらの形態は、伝統的に女性の役割として位置付けられてきたものである。してみると女性の役割は、介護を担う子どもに関する限り幼い時代の日々の暮らしを通しながらごく当たり前の事柄として子ども達の脳裏に織り込まれるのである。

介護作業と子どもの年齢には、一定の相関が認められる。すなわち、家事援助や衣服の着脱等の作業の行為者率は、子どもの年齢階層と共に上昇する(表6-5)。子どもは、広く語られるよう

に加齢と共に自立心を養い大人社会への準備の一つとして家族の雑用を引き受けることが求められる。行為者率と年齢階層との相関は、この例証である。しかし、両者の相関関係はこの限りに過ぎない。情緒面の支援をはじめ身体介護と保育の行為者率は、前出の表に示すように年齢階層による特段の違いを持たない。

表6-5 年齢階層別及び性別介護作業の形態(1997年、2003年)<sup>(1)</sup>

(単位：%)

	1997年				2003年			
	5歳未満 (A)	5-10歳 (B)	11-15歳 (C)	16-17歳 (D)	(A)	(B)	(C)	(D)
家事援助	25.0	55.2	72.6	81.5		52-60	67-77	69-85
与薬、衣服の着脱等	10.0	45.0	56.1	68.5		39-43	50	55-51
見守りや励まし	20.0	35.2	43.8	43.8		81-80	81-82	85-87
排泄の介助等	5.0	10.9	20.9	34.3		11-13	15-22	17-32
弟や妹の保育	10.0	5.6	6.7	5.6		11-10	10-13	10-13

(資料) Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, op.cit., p.37, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, op.cit., p.9, Joanne Maher and Hazel Green,

Carers 2000, results from the carers module of the GHS survey 2000, TSO, 2003, p.17より作成。

(注)(1) 1997年の計数は男女の合計、2003年の計数は各欄の左側が男子、右側が女子のそれであり、表中計数が一つの場合には男女ともに同じことを示す。

週20時間を超えて介護を担う子どもは、男女の平均でおよそ6人に1人を数える（16.2%、2001年）。週当たり介護時間の長さは、性別に異なる。週20時間以上49時間以下にわたって介護を担う子どもは、少年よりも少女に多い。これは、週50時間以上の介護を担う子どもにも同じように指摘される（表6-6）。成人の介護者に認められる性別の特徴、すなわち、介護者に占める女性の比率が、週当たり介護時間の長期化につれて上昇する傾向は、18歳未満の介護を担う子どもにも認められることになる。介護作業の形態別に見る少女の行為者率が、おしなべて高いばかりでなく、相対的に長い時間をする家事援助と身体介護において少女の行為者率が格別に高いことの現れである。

表6-6 介護を担う子どもの年齢階層別週当たり介護時間別構成(2001年)

(単位：%)

	1-19時間	20-49時間	50時間以上	計
男子				
5-7歳(A)	76.0	9.4	14.6	100.0
8-9歳(B)	81.4	7.5	11.1	100.0

10-11歳(C)	83.7	7.6	8.7	100.0
12-14歳(D)	86.8	6.9	6.3	100.0
15歳(E)	86.2	8.5	5.3	100.0
16-17歳(F)	84.1	10.0	5.9	100.0
計(G)	84.7	8.4	6.9	100.0
女子				
(A)	76.3	9.3	14.4	100.0
(B)	81.0	8.0	11.0	100.0
(C)	85.0	7.0	8.0	100.0
(D)	85.7	7.8	6.5	100.0
(E)	84.6	8.9	6.5	100.0
(F)	80.5	11.6	7.9	100.0
(G)	83.0	9.3	7.7	100.0

(資料) ONS, Census 2001, national report for England and Wales, TSO, table SO25, pp.56-57より作成。

介護の継続期間は、3年以上5年以下が最も多く（44%）、これに2年以下（36%）、6年以上9年以下（18%）、10年以上（3%）と続く（2003年）<sup>③5</sup>。2年以下といえどもいつ責任を果たし終えるのか見通しをつけることさえもままならず、まして身体的にも精神的にも成育の途上にある子どもにとって短くはない期間である。3年を超す介護期間の長さは言うまでもない。

子どもは、介護者化の影響を自らすんで語ろうとはしない。かかる体験について、それが友人であれあるいは教師等の専門家に対してであれ、自ら語ることを望んではいない<sup>③6</sup>。家族の事柄として胸の内にしまい込むことを望むのである。「誰かと話すこと」は、調査研究の示すように全ての子供の主要なニーズのひとつである。これはこれで子どもの成長を促し、交友関係を深める。しかし、親たちは、このニーズに気付いていないようである。まして子どもが介護役割について他人に話すように励ますこともない。親たちは、自らのニーズを医師や看護師などの専門家にすんで伝え必要なサービスを求めこそそれ、介護者としての子どもの存在とそのニーズを語ろうとしない。これは、子どもの年齢階層が低い場合に最も良く見られる光景である。子どもの介護者化を伝えるならば、専門家は、要介護者としての親の入院や入所の措置をもって家族を切り離すのではないかと心秘かに恐れるからである。

介護に伴う生活上の影響について広く語られてきたことは、よく知られる。子どもが介護の役割を担うならば、介護作業の形態別構成こそ成人の介護者の場合とやや異なるとはいえ、その影響は同じように少なくない。

子どもは、介護に拘束されることから交友関係を住居のごく近くに抑制しようとする。友人の交わりは、ごく近くに住む友人の家を訪れ暫しのときを過ごすことと解釈し、住居から離れたディスコなどに出向いて友人と共に夜を過ごすこと等とは理解しない。介護を担う子どもは、外出する場合でさえいつも所定の時刻までに家に戻らなければならない。S.ベッカー等が介護の門限 (caring curfew) と名付ける事態である<sup>(37)</sup>。要介護者の求めに応じて介護作業を担うための帰宅であり、あるいは、親をひとり家に残してきたことへの子どもならではの気遣いからである。子どもが、交友関係に課せられる制約に不満を抱き、その調整を試みることもある。しかし、子どもは、要介護者としての親の福祉を蔑ろにすることなく、これをあくまで優先しながら身を処するのである。子どもは、そうした環境に置かれ続けると孤立し交友関係を失うこともある。結果として友人関係の不安を抱えながら、殆どの時間を要介護者と共に自宅で送ることになる。

友人が手を差し伸べて交友関係の維持に工夫を加えることは、期待し得ない。友人は、多くの場合に介護の体験を持たない。介護を担う友人がこれを語ることもない。かくしてその何たるかについて想いを巡らすことなど難しいからである。介護を担う子どもは、こうして交友の機会を失い、それと意図することなしに自らの生活を介護に傾斜させる。

介護を担う子どもに対するいじめ (Bullying) は、しばしば伝えられる問題のひとつである。これを経験する子どもは少なくない (69.2%、98年、71%、2001—2002年)<sup>(38)</sup>。これは、年次を異にするとはいえないじめを受けたことのある学齢期の子どもに関する計数 (68%、83年) よりもやや高い。体を殴ったり引っつかんだりする身体的ないじめはもとより、言葉によるそれもある。多くの子どもは、複数のいじめの形態を体験する。

教育を受ける権利は、国際連合 (UN) の子どもの権利条約 (1989年) の28条に謳われる。同じく29条は、子どもの潜在能力の開花を教育の成すべき目標の一つに掲げる。イギリス政府は、この条約を91年に批准する。この権利の遵守が介護責任に伴って危うくなることは、介護を担う子どもに関する最初の調査としてのサンドウィル調査以来、繰り返し明らかにされる。子どもは、彼女もしくは彼の看る要介護者の病状や障がいのあり様が心に重く圧し掛かるところから、学校の授業に集中できないことがある。最も極端な場合には、学校への遅刻や欠席も介護責任の結果として生まれる。子どもが介護作業に追われ、あるいは親を一人にしておくことを恐れるからである。これは、とりわけ自虐行為や自殺を試みたことのある親を持つ子どもに顕著である。急性期の要介護者を見る子どもも、要介護者に寄り添うことこそ自分の務めであると了解して、学校を休みがちになる。

学力の形成は、長い期間のたゆまぬ努力の結晶である。遅刻や欠席などが繰り返されるならば、それは、友人関係に止まらず学力の形成にも負の影響を及ぼす。イギリスには、1416年に始まる中等教育の一般証明書 (GCSE) の歴史がある。これは、イングランドとウェールズ及び北アイル

ランドの14歳以上16歳以下の中等学校生徒が取得する資格の名称である。この証明書は、言語と技術あるいは社会関係など5つの主題から構成され順に取得することができる。しかし、16歳以上18歳以下の介護を担う子どもの36人中30人(83.3%)、同じく19歳以上24歳以下の24人中16人(66.7%)は、5つの主題のいずれかもしくは全てについて一般証明書を取得していない(20人、55.6%、10人、27.8%、11人、45.8%、5人、20.8%、99年)<sup>(39)</sup>。これらの計数は、同じ年齢階層の全ての子どもに関する全国規模の調査に較べるならば高いことから、介護を担う子どもにおける学力の遅れを例証する結果である。

学校の欠席などと結び付いた一般証明書の芳しからざる取得状況は、労働市場への参入に当たって妨げになる。就業の機会は明らかに制限される。開かれるとすればおしなべて低賃金職種である。職業選択の自由を手にするために一般証明書の再取得や職業資格の取得に向けて、やむなく在学期間を延長する試みも生まれる。

学校の欠席を含む教育上の諸問題は、介護を担う子どもに対する支援事業の展開につれてやや緩和される傾向にあることも確かである(表6-7)。いかにも地道な啓発活動が功を奏して教職員をはじめとする学校関係者の理解が進み、関係する子どもとその家族への対応が広がっていることの例証である。

家族の一員が疾病を患い、あるいは障がいを抱えることは、同じ屋根の下に暮らす家族に精神的な不安を抱かせる。精神的な重圧は、介護者として家族の誰よりも要介護者の日々の生活に寄り添うならば、否応なく強まる。病に由来する痛みに耐え、あるいは衰弱状態に陥った親の姿を目の当たりにすることは、子どもにとって信じ難い光景であり苦痛の種でもある。しかし、介護者であり続ける限り、その場所から逃れるわけにいかない。

介護の影響は、精神的な不安はもとよりリフティングなどの介護作業の結果として介護者の身体的な健康にも影響を及ぼす。これは、発育の途上にある子どもにとりわけ深刻である。頭痛やいらいら、疲労感や睡眠の中斷を訴える子どもも少なくない。これらの症状は、精神的な不安の現れであると共に要介護者の抱え上げ等の結果でもある。この種の悩みは、介護を担うだけに少なくない。頭痛などの症状の訴えは、介護負担のない子どものおよそ2倍に上るという調査結果も伝えられる程である<sup>(40)</sup>。

表6-7 介護を担う子どもの学校の欠席を含む教育上の諸困難の経験  
比率(1995年、97年、2003年)

(単位: %)

	1995年	1997年	2003年
5歳以上10歳以下	20	17	13
11歳以上15歳以下	42	35	27

5歳以上15歳以下の平均	33	28	22
--------------	----	----	----

(資料) Chris Dearden and Saul Becker, Young carers, the facts, op.cit., p.24, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, op.cit., p.44, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, op.cit., p.11より作成。

『国勢調査』2001年版が『国勢調査』としては初めて介護者に関する項目を盛り込んで実施されたことは、既に述べた。『国勢調査』は、介護を担う子どもと健康との相関について88年以降に確かめられてきた結果を改めて実証する。すなわち、「健康状態が良くない比率」は、介護を担っていない子ども（1.6%）に較べて週1時間以上19時間以下の介護を担う子ども（1.9%）はもとより、同じく週20時間以上49時間以下の子ども（3.3%）、週50時間以上の子ども（6.1%）のいずれについても高い<sup>(41)</sup>。子どもが介護責任を負うことは、週当たりに費やす時間の長さに関わりなく健康に悪い影響を及ぼすことはもとより、介護時間の延長が健康状態の優れない子どもを増やすことについても最初の全数調査として明らかにするのである。各地で個々に積み重ねられてきた事例調査の正しさを改めて実証すると共に、介護を担う子どもと健康との関わりについて議論の新しい素材を提供する調査結果である。

#### 4. 介護を担う子どものニーズと政策対応の進展

介護者のニーズに関する英国介護者協会やキングス・ファンドの体系的な提起（86年、94年、89年）は、広い関心を集めて介護者支援政策の形成と展開に強い影響を及ぼす。これに類似する実績は、介護を担う子どもとその支援についても指摘することができる。それは、英国介護者協会と『コミュニティケア』誌の共催による討論会（93年）において提起された介護を担う子どもの権利である<sup>(42)</sup>。それは16項目の提言である。

- (1) 子どもとして、介護者としてあるいは双方の地位にある者としての自己決定と選択の権利、
- (2) 要介護者とは独自に承認され処遇される権利、(3) 他の意見を聴くと共に自分の考えに耳を傾けてもらい、信じてもらうことのできる権利、(4) プライバシーの権利、(5) 遊びやレクリエーションに興ずる権利、(6) 教育を受ける権利、(7) ニーズに相応しい社会サービスと保健サービスを受ける権利、(8) 休息や休暇の機会の享受を含む実際的な援助を受ける権利、(9) 要介護者の抱え上げに伴う負傷から保護される権利を含む身体的及び精神的な傷害から保護される権利、(10) 自らの生活と家族の暮らしに影響を及ぼす決定に当たって相談を受け決定に参画する権利、(11) 手当とサービスを含めて自らと家族に関係する事項についての情報と助言を受ける権利、(12) 専門的な知識や助言を提供する個人や専門機関と関係を結び利用する権利、(13) 信頼の置ける代理人や弁護士に委任する権利、(14) 人種や民族及び宗教上のニーズの完全な承認を含むニーズのア

セメントを受ける権利、(15) 申し立てを行う権利、(16) 希望するならば介護の役割を停止する権利。

この提言を全ての項目に即して仔細に検討するならば、2つの成果に依拠しながら練り上げられた産物であると評することができる。そのひとつは、子どもの権利条約である。この条約は、子どもの平等な待遇をはじめプライバシーの尊重、情報の入手、健康な暮らしと充分な生活水準の享受、教育と余暇の権利などについて謳う。これらの内容は、見られるように先の提言と重なり合う。いまひとつは、英国介護者協会やキングス・ファンドの提言である。両団体は、介護者とそのニーズの承認をはじめ選択性と公平性の担保、諮詢の実施、情報と実際的な援助の提供、所得給付とサービスの提供等について示す。これらも先の提言と内容の上で重なり合う。たとえば選択性の担保は、先の提言の最後に示される介護の停止に関する権利をその内に含む。提言は、介護を担う子どもに関する調査結果を見据えた上で、子どもの権利条約と英国介護者協会等の提起から学び取りながら策定された成果である。

この提言が法制度の変更に連動し介護を担う子どもに対する支援政策の拠り所として実を結ぶには、介護者支援政策と同じように一定の時間を要する。

90年法に先立つ政策文書は、介護者とそのニーズに着目して必要な支援策を提言するとはいえ、それも成人の介護者（Adult carers）に止まり、介護を担う子どもとそのニーズを視野に收めることはない。コミュニティケアに関する監査委員会報告書や90年法の拠り所をなす『グリフィス報告』及び保健社会保障省の議会報告『人々のための介護－向こう10年のコミュニティケア』がそれである。これらの報告は、コミュニティケアの大部分が介護者に担われることを一様に認めた上で、介護者の生活の質（QOL）の向上を念頭に置きながらその支援について提起する<sup>(43)</sup>。いかにも新鮮で重要な提起であるにもかかわらず、介護を担う子どもの姿がそこに描かれ必要な政策の提起に結び付くことはない。90年法が同様の限界を抱えることは、これらの報告を拠り所にすることから自然の成り行きである。

介護を担う子どもへの無関心は、その後も続く。監査委員会の報告『コミュニティ改革一対人社会サービスとコミュニティケア』（92年）が、介護者を高齢者、身体障がい者、知的障がい者及び心の病を抱える人々と並ぶ第5のサービス利用集団として位置付けたこと<sup>(44)</sup>は、先の『グリフィス報告』等と全く同じ問題関心からである。しかし、介護を担う子どもに関する指摘は、この報告書にも認められない。

こうした対応に変化が記録されるのは、介護を担う子どもの権利に関する提言の2年後に当たる95年である。95年法は、介護者の年齢階層に関わりなくその全てに適用されることから、介護を担う子どもが初めて法的に認知されることになる。これは、かかる責任を負う子どものニーズの正式な認知であり、ニーズに即した考慮が払われることを意味する。すなわち、子どもに開かれ

るはずの教育並びに社会活動の機会が過大な介護負担の故に否定されるならば、有害な結果を招くのであって、これらの子どもに不相応な介護責任を追わせることのないよう、政府はサービスを担保する責務を負うことになる。

保健省は、この責務を担保するべくアセスメントの実施に当たって特に留意すべき事項を定める<sup>(45)</sup>。それは、子どもの考え方とプライバシーの尊重をはじめ介護責任に由来する子どものニーズの考慮、教育を受ける権利や子どもの人格形成に及ぼす影響、情報と助言の機会並びに要介護者としての親への援助の必要性の考慮等から構成される。この留意事項は、介護を担う子どもと要介護者としての親の双方を視野に收めていることに着目するならば、家族全体へのアプローチもしくは家族志向のアプローチの所産である。また、子どもの選択やプライバシーあるいは教育を受ける権利の尊重に言及することから、介護を担う子どもの権利に関する93年の提言と内容の上で重なり合う。

子どもに関する（スコットランド）95年法（the Children (Scotland) act 1995）は、介護に当たる子どものニーズに対応するサービスの給付について新たに定める。先の95年法とは別の法律である。

先の95年法に続く『介護者のための全国戦略』は、95年法と共に里程碑をなす。この文書は、介護を担う子どもに関して独自の章を設ける<sup>(46)</sup>。介護の影響に関する調査研究の成果を肯定的に引用した上で、役割の承認と介護作業の支援、情報の提供及び心の安寧の確保が求められると指摘する。他の全ての子どもと全く同じように教育を含む機会を等しく享受しなければならないとして、介護を担う子どもに対する支援の拡充について提起する。

政策的な拠り所の整備は、少なくともその機会に関する限り今一度存在する。それは、介護者の確認に関する法案（Carers (identification and support) bill）である。2007年4月に提出される。介護を担う子どもの支援に関する政策の立案を自治体に義務付ける内容である。既に幾つかの自治体においては、この種の独自の政策文書を策定し実施に移していることから、こうした取り組みの意義を認めた上でその一般化を図ろうとするものである。しかし、この法案は葬り去られる。

介護を担う子どもへの支援の政策的な拠り所は、こうして95年から99年初頭にかけて整備される。かかる整備は、後に確かめるように自治体による支援の展開を後押しする。

自治体の関係する政策文書は、大別するならば4つの種類からなる。まず、『コミュニティケア計画』や『コミュニティケア憲章』である。また、『介護者支援戦略』や『介護者憲章』である。さらに、『介護を担う子ども支援戦略』と『介護を担う子ども憲章』である。最後に、『子ども支援計画』である。これらの文書に介護を担う子どもに関する定義が与えられ、かかる子どものニーズに即した支援策と財政措置が記載されるならば、これを以て介護責任を負う子どもの支援

に関する自治体政策の形成と判断して良い、と考えられる。

100を超す自治体の文書を検討するならば、介護を担う子どもの支援政策は、最も早い自治体で92年に公表される（表6-8）。これらは、3つの自治体によってなされる（タームサイド州、リーズ市、ノーズリー市）。その後、同様の自治体は徐々に増加の一途を辿る。特に95年と99年を画期にする増加を前出の表に確かめることができる。また、関係する文書に介護を担う子どもへの支援策を盛り込まない自治体は、これも前出の表に示すように96年まで幾つかを数えるとはいえ、少なくとも97年以降に関する限り皆無である。これらは、95年法と『介護者のための全国戦略』に促された結果である。

表6-8 介護を担う子どもの定義、ニーズあるいは支援計画など文書公表の有無別年次別自治体数の推移(1991—2008年)

(単位：箇所)

	文書公表あり <sup>(1)</sup>		関係文書に介護を担う子どもに関する記述のない自治体 <sup>(2)</sup>
	新規に公表の自治体数	公表自治体の累計	
1991年			1
1992年	3	3	1
1993年	0	3	15
1994年	7	10	2
1995年	8	18	2
1996年	13	31	2
1997年	16	47	0
1998年	9	56	0
1999年	21	77	0
2000年	18	95	0
2001年	6	101	0
2002年	0	101	0
2003年	0	101	0
2004年	2	103	0
2005年	2	105	0
2006年	2	107	0
2007年	3	110	0
2008年			0

(資料) Paul Murphy, Informal carers in Solihull, Socihull Social Services, 1991, pp.1-7, Alison Elliott, Hidden children, a study of ex-young carers of parents with mental health problems in Leeds, Leeds City Council, 1992, pp.1-29, Tameside MBC, Toward a strategy for carers, Tameside MBC's

research on carers, young carers, Tameside MBC, 1992, p.1 and p.4, Tameside MBC, Towards a strategy for carers, young carers, Tameside MBC, 1992, pp.1-10, Lancashire County Council, Partnership with carers strategies for involving carers in planning and consultation, Lancashire County Council, 1992, pp.1-25, Knowsley Metropolitan Borough Council, Knowsley strategy for carers 1999-2002, Knowsley MBC, 1999, p.15, Lambeth, Southwark & Lewisham Family Health Services Authority, Commissioning services for carers towards a strategy, phase 1, Lambeth, Southwark & Lewisham FHSAs, 1993, pp.1-32, Waltham Forest, Information for service users and carers, Waltham Forest, 1994, p.1, Northamptonshire County Council, Who cares...? improving services for carers in Northamptonshire, a strategy document, Northamptonshire County Council, 1994, pp.1-14, Wiltshire Social Services Department, Carers policy and strategy, Wiltshire SSD, 1994, p.12, Islington Council, The Carer's handbook, 3<sup>rd</sup> edition, Islington Council, 1994, p.25, Staffordshire SSD, Developing community care for carers, Staffordshire SSD, 1994, p.9, Royal County of Berkshire, Carers policy, Royal County of Berkshire, 1995, pp.1-23, Greenwich, Community care plan 1995/96, Greenwich, 1995, p.113, LB of Wandsworth, A Guide for carers in Wandsworth, LB of Wandsworth, 1995, p.1, Newham SSD, Services to children & young people providing support/personal assistance to family members;policy and procedures, Newham SSD, 1995, pp.1-33, LB of Sutton, Meeting the needs of children and young people in Sutton, a plan for 1995/96, LB of Sutton, p.30, East Sussex, Carers (recognition and services) act 1995, practice guide, East Sussex, 1995, pp.9-12, Rotherham, Carers, Rotherham, 1995, p.1, Sheffield Health, Carers, people in their own right, Sheffield Health, 1995, p.3, Lancashire County Council, A Review of the partnership with carers strategy, Lancashire County Council, 1995, p.6, Barrie Fiedler, Young carers, making a start, report of the SSI fieldwork project on families with disability or illness, October 1995-January 1996, DoH, 1996, p.38, Edinburgh, Towards 2000, a carers strategy for the Lothians, Edinburgh, 1995, p.1, Lothian Regional Council, Towards 2000, developing a strategy for carers in the Lothians, part II, appendices, Lothian Regional Council, 1995, p.9, Barking and Dagenham, Local community care charter, Barking and Dagenham, 1996, p.3, Haringey, Carers (recognition and services) act 1995, information pack, Haringey, 1996, p.3, Birmingham City Council, New rights for carers, Birmingham City Council, 1996, p.3, LB of Wandsworth, Are you looking after someone? LB of Wandsworth, 1996, p.2, Kent County Council, Support for carers, Kent County Council, 1996, p.1, Cambridgeshire County Council, Carers' handbook, Cambridgeshire County Council, 1996, p.5, Bolton Metro, Carers guide, 1996 edition, Bolton Metro, 1996, p.2, Birmingham City Council, Carers Connect, Winter 1996, Birmingham City Council, 1996, pp.6-7, Salford City, A Handbook for carers at home, Salford City, 1996, p.1, Oldham Metropolitan Borough and West Pennine Health Authority, Oldham carers information, Oldham MB and al, 1996, p.74, South Gloucestershire, Carers policy and strategy, South Gloucestershire, 1996, p.1, Dudley MBC, Help and services for carers, Dudley MBC, 1996, p.1, Worthing Carers Liaison Project, Carers information pack, Worthing CLP, 1996, pp.17-20, Brent Council, Brent carers strategy 1996/1999, Brent Council, 1996, p.8, Suffolk, Community care plan 1996/99, Suffolk, 1996, p.45 and p.47, Pamela A. Thomas, Young carers; a way of life, Metropolitan Wigan, 1996, pp.1-21, Liverpool City, Carers strategy & action plan, Liverpool City, 1996, p.1 and p.8, Allison Collins, Carers support project-Radnorshire & North Brecknock eleventh report 1 July 1996-30 September 1996, Radnorshire & North Brecknock, 1996, p.2, Glasgow City, Joint community care plan 1995-98, Glasgow City, 1996, p.35, Fife Health Board and Fife Social Work, Fife carers strategy 1996/1997, Fife Health Board and Fife Social Work, 1996, p.15, Lewisham SSD, Carers' strategy 1996-1999, Lewisham SSD, 1997, p.3, Merton, A Joint strategy for carers in Merton 1998-2001, draft 2, Merton, 1997, p.17, LB

of Redbridge, Progress on the implementation of the carers charter 1996/97, LB of Redbridge, 1997, p.47, Essex County Council, Information and advice for carers in the Thurrock area, Essex County Council, 1997, p.11 and p.24, Hampshire County Council and Portsmouth City, The Carers handbook, Hampshire County Council and Portsmouth City, 1997, p.5, Buckinghamshire County Council, Assessment for carers, a guide for people looking after a dependent person, Buckinghamshire County Council, 1997, p.2, Bristol City Council, Carers policy, Bristol City Council, 1997, p.2, Rotherham MBC, The Carers (recognition and services) act 1995, guidelines for staff, Rotherham MBC, 1997, p.2, Redcar & Cleveland SSD, Carers-policy and strategy for services, Redcar & Cleveland SSD, 1997, p.4, Kirklees MC, Caring in Kirklees, a report of the findings of a survey questionnaire, Kirklees MC, 1998, p.2, Dundee City Council, Looking after a relative or friend? do you need help? Dundee City Council, 1997, p.2, Dundee City Council, Community care plan 1997-2000, Dundee City Council, 1997, pp.1-17, Sandwell Metropolitan Borough Council, Young carers, time to break out, Sandwell MBC, 1997, pp.1-5, Telford Community Council, Up the ermitage and round the Wrekin, the report of the carers network project, mapping exercise, Telford Community Council, 1997, p.4 and p.6, Wigan MBC, report on the carers workshop at Haigh Hall on Wednesday 12 February 1997, Wigan MBC, 1997, p.5, Newcastle CVS, A Carers strategy, Newcastle CVS, 1997, pp.5-6, Rhondda Cynon Taff County Borough Council, Children as carers, the multi-agency response, Rhondda Cynon Taff County Borough Council, 1997, pp.1-21, Aberdeenshire Council and Grampian Health Board, A Carers strategy draft, Aberdeenshire Council and Grampian Health Board, 1997, p.15, East Ayrshire Council, Ayrshire and Arran carers action plan, East Ayrshire Council, 1997, p.18, North Ayrshire Council, Young carers social inclusion strategy for North Ayrshire, North Ayrshire Council, 1997, pp.1-25, East Sussex, Brighton and Hove Health Authority, East Sussex County Council, Services for carers in East Sussex, a joint strategy & action plan, East Sussex, Brighton & Hove HA, East Sussex County Council, 1998, p.2, Borough of Poole, Carers policy and good practice guidelines, Borough of Poole, 1998, 8.1-8.5, Bristol SSD, Guidance on carers policy, Bristol SSD, 1998, p.1, St. Helens & Knowsley Health Authority, Making a difference for carers in St.Helens 1998-2001, St.Helens & Knowsley Health Authority, 1998, p.6, Hertfordshire, Multi-agency young carers' strategy for Hertfordshire, Hertfordshire, 1998, p.3, Wigan MBC, Report on young carers work in Wigan since April 1998, Wigan MBC, 1999, p.5, City of Aberdeen, Strategy for carers 1998-2001, City of Aberdeen, 1998, p.6, City of York and North Yorkshire Health Authority, Working with carers, the next decade, a joint strategy for consultation, City of York and North Yorkshire Health Authority, 1998, pp.32-33, Leeds City Council, Choices for carers, 1998 edition, Leeds City Council, p.10, Fife, Joint community care plan 1998-2001, Fife, 1998, pp.51-52, East Ayrshire Council, Ayrshire and Arran Health Board, Carers strategy 1998-2001, East Ayrshire Council, Ayrshire and Arran Health Board, 1998, p.9, p.10 and p.15, Barking & Havering Health Authority, LB of Barking & Dagenham Social Services, The Young carers experiences, conference report, Barking & Havering Health Authority and al, 1999, pp.1-25, Earling, Carers' strategy 1998-2001, Earling, 1999, p.13, Leeds City Council, Leeds carers strategy 1999-2002, Leeds City Council, 1999, p.14, Newport County Borough, The Carer's special grant, Newport's plan, Newport County Borough, 1999, p.1 and pp.6-7, Greenwich Council, Social services, an introduction, Greenwich Council, 1999, p.1, Calderdale Council, Are you a carer? Calderdale Council, 1999, p.1, Gwynedd Council, Carers, Gwynedd Council, 1999, p.1, LB of Hillingdon, Carers strategy 1999-2002, LB of Hillingdon, 1999, p.15, Bath & North East Somerset Council, Avon Health Authority, Carers policy and strategy, Bath & North East Somerset Council and Avon Health Authority, 1999, p.27, Nottingham City Council, Carers

grant action plan 1999-2002, Nottingham City Council, 1999. p.5, Bolton Metro, Enabling carers to have a break from caring & involving carers in planning, Bolton Metro, 1999, p.5, Shropshire and Telford & Wrekin, Carers' contact, Shropshire and Telford & Wrekin, 1999, p.3, Thurrock Council, Community care in Thurrock- carers policy, Thurrock Council, 1999, p.5, Southwark SSD, Carers plan 1999-2002, Southwark SSD, 1999, p.5, Kirklees MC, National and local carers strategies report by the Chief Social Services Officer, 21<sup>st</sup> April 1999, Kirklees MC, 1999, p.8, Wiltshire County Council, Wiltshire carers policy & strategy, Wiltshire County Council, 1999, p.1, Leicester City, Do you need help to cope with caring for someone? Leicester City, 1999, p.1 and p.3, Birmingham City Council, Carers Connect, February 1999, Birmingham City Council, 1999, p.12, Bournemouth Borough Council, Carers' strategy 1999/2002, Bournemouth Borough Council, 1999, p.5, Sandwell MBC, Getting the help and support you need, an A & Z guide for adult service users and their carers, Sandwell MBC, 1999, pp.132-133 and p.138, Slough Borough Council, Slough carers plan final draft, Slough Borough Council, 1999, chart one, Norfolk County Council, Carers plan 1999-2002, Norfolk County Council, 1999, p.3, Metropolitan Wigan, Children's services plan 1999-2002, Metropolitan Wigan, 1999, p.29, Denbighshire County Council, Carers information pack, Denbighshire County Council, 1999, p.17, Edinburgh YCP, Strategy for young carers in Edinburgh, Edinburgh YCP, 1999, p.1, West Lothian, Developing a strategy and action plan for carers in West Lothian, part 2-the draft action plan for 1998-2001, February 2001 update, West Lothian, 1999, p.9, The Royal Borough of Kensington and Chelsea, Are you looking after someone at home? The Royal Borough of Kensington and Chelsea, 2000, p.1, Brighton & Hove, Quick guide for carers, Brighton & Hove, 2000, p.1, Torfaen County Borough, Carers' information handbook, Torfaen County Borough, 2000, p.2, Stockport MBC, Do you look after someone? Stockport MBC, 2000, p.1, LB of Lewisham, Assessment of carers-practice guidance, LB of Lewisham, 2000, pp.1-15, Southwark, Do you look after someone? Southwark, 2001, p.11, City of Liverpool, Liverpool carers' directory, City of Liverpool, 2000, pp.3-4, Rhondda Cynon Taff, Carers news, Issue 6, Summer 2000, Rhondda Cynon Taff, p.10, Wandsworth, A Guide for carers in Wandsworth 2000/2001, Wandsworth, 2000, p.7, West Sussex Health Authority and West Sussex SSD, Moving in the right direction for carers, a joint strategy for carers, West Sussex Health Authority and West Sussex SSD, 2000, p.7 and p.8, Sandwell, Strategy for carers in Sandwell, draft, Sandwell, 2000, pp.21-25, Dundee City Council, a Strategic action plan for carers in Dundee, Dundee City Council, 2000, p.2, North Ayrshire, Joint carers strategy -draft framework, North Ayrshire, 2000, pp.2-3, Kirklees, Carers' strategy report 2000/2001, Kirklees, 2000, p.7 and p.13, Telford & Wrekin Council, Revised carers plan and progress report programme, 2000/2001, Telford & Wrekin Council, 2000, p.5, Northamptonshire County Council, Carers grant plan 2000-2001, Northamptonshire County Council, 2000, pp.1-3, City of Sunderland, National carers strategy in Sunderland, a year on, multi-agency carers' conference, City of Sunderland, 2000, pp.12-15, Birmingham City Council, Carers support groups in Birmingham, Birmingham City Council, 2000, p.22, p.37, p.51, p.55 and p.61, Warwickshire County Council, Report to adult service group 08/02/2000, draft carers strategy, Warwickshire County Council, 2000, p.3, Backnell Forest Borough Council, A Guide to services and support for carers in Bracknell Forest, Bracknell Forest Borough Council, 2000, p.4, Wiltshire County Council and Swindon Borough Council, Young carers strategy 2000-2003, Wiltshire County Council and Swindon Borough Council, 2000, pp.1-35, Powys, Carers' strategy, Powys, 2000, p.1, p.3 and p.7, Cyngor Bwrdeistref Sirol County Borough Council, Application for carers special grant, written plan, Cyngor Bwrdeistref Sirol County Borough Council, 2000, p.8, Glasgow City, Young carers strategy consultation draft, summary, Glasgow City, 2000, pp.1-25, West Glamorgan, Caring

about carers, carers plan 2000-2001, West Glamorgan, 2000, p.9, Isle of Wight Council and Isle of Wight Health Authority, Promoting independence; carers' plan 1999-2002, revised 2000, Isle of Wight Council and Isle of Wight Health Authority, 2000, p.3 and p.13, LB of Havering, Havering's carers strategy 2001/2004, LB of Havering, 2001, p.19 and pp.22-23, Devon County Council, Devon carers plan for 2001-2004, Devon County Council, 2001, p.29, Kirklees Metropolitan Council, Carers handbook, Kirklees Metropolitan Council, 2001, p.2, Denbighshire County Council, A strategy for carers in Denbighshire, Denbighshire County Council, 2001, p.3, North Lanarkshire, Strategy for carers 2001-2004, North Lanarkshire, 2001, pp.15-16, Cardiff County Council, Cardiff carers plan, draft 5, Cardiff County Council, 2001, pp.5-6, Dorset City Council, Information for carers, Dorset City Council, 2001, p.1, West Sussex, West Sussex young carers strategy, messages from parents and young carers, West Sussex, 2001, pp.1-32, Dumfries and Galloway., A Carers strategy for Dumfries & Galloway, Dumfries and Galloway, 2001, p.7 and p.10, Glasgow City and als, Joint young carers strategy 2002-2005, Glasgow City and als, 2002, p.11, North East Lincolnshire Council, Directorate of children's services policy, young carers' policy, North East Lincolnshire Council, 2004, pp.1-5, Cheshire County Council, Young carers charter, Cheshire County Council, 2004, pp.1-25, Devon, Policy guidances; young carers, Devon, 2005, pp.1-20, Darlington Borough Council and Darlington Primary Care Trust, Young carers' action plan 2005-2007, Darlington Borough Council and Darlington Primary Care Trust, 2005, pp.1-26, Kent County Council, Invisible people, a multi-agency strategy for young carers in Kent 2006-2010, draft, Kent County Council, 2006, pp.1-32, Wiltshire County Council, Wiltshire young carers strategy 2006-2009, Wiltshire County Council, 2006, pp.1-33, North Tyneside, Young carers strategy 2006-2009, North Tyneside, 2006, pp.1-21, Halton Borough Council, A Quick guide to service for carers, supporting carers in Halton, Halton Borough Council, 2006, pp.1-18, Hillington, Hillington's young carers strategy 2007-2012, Hillington, 2007, pp.1-25, Rotherham, Rotherham young carers commissioning strategy 2007-2010, Rotherham, 2007, pp.1-33, Shetland, For Shetland's young carers, a strategic framework to support young carers across Shetland 2007-2010, Shetland, 2007, pp.1-20, Sheffield City Council, Help for young carers in Sheffiled, Sheffiled City Council, 2007, pp.1-18, A Letter from Allison Waddell (Young carers service manager, Calderdale Council) to Kiyoshi MITOMI dated 15<sup>th</sup> August 2007より作成。

(注)(1) 表中の計数は、定義などを与えた最初の政策文書の公表年次を示す。

(2) 介護者に関する文書が公表されながら、その中に介護を担う子どもに関する定義を含む提示のない場合を示す。

介護を担う子どもへの支援は、全般的な傾向を振り返るならば当初『コミュニティケア計画』のごく一部として記載され、その後『介護者支援戦略』や『介護者憲章』の策定と共にその不可欠の構成要素としての位置を与えられながら内容の上でも拡充される。さらに、98年以降になると『介護を担う子ども支援戦略』等の名称のもとに独自の政策文書としての地位を与えられ一段と拡充される。

独自の文書としての策定は、保健省から特に求められた事柄ではない。自治体の文字通り自発的な創意の産物である。第1に、介護を担う子どもへの支援は、ひとり社会サービス部によって完結するわけではない。自治体の内部に限っても社会サービス部はもとより教育部や住宅部との協

同が求められ、また、国民保健サービスの地方機関との協力も欠かすわけにいかない。介護の影響を最小限に押し止めて子どもの人格の形成と教育の権利を尊重するためには、必須の対応である。第2に、その職責に照らすならば介護を担う子どもと日常的に接するであろう教師や医師あるいは看護師などの専門家による理解は、充分ではない。介護を担う子どもへの支援は、かかる務めを負う子どもの発見に始まることを改めて思い起こすならば、これらの専門家の理解と協力を得ることなしに支援の入り口を開くことさえも覚束ない。第3に、こうした子どもを支援の必要な階層の一つとして位置付けることへの地域の理解も、これまた充分であるとは言い難い。子どもは保護の対象であるとの通念が支配し、そうした地位にあるはずの子どもが要介護者の世話に当たるなど容易に想像し難いからである。自治体は、そこに勤務する職員の職責に照らして介護を担う子どもと接する機会を持つだけに、これらの課題を意識し始め、その解決に向けて自治体の部局横断的な文書を策定する。

政策文書の拠り所となる原則には、承認と選択性及び個別性の担保、平等性の確保、諮詢と情報並びに実際的な援助の提供、公的機関と民間非営利団体との協同などが盛り込まれる<sup>(47)</sup>。介護を担う子どもの支援に関わって93年になされた提言との内容の類似性を、ここに見て取ることができる。してみると93年の提言が、自治体等の政策文書に採用されるのである。

文書に盛り込まれた諸事業が実際に移されて支援の実を上げるために、専門家の理解を促しこれによって問題への適切な対応が図られなければならない。なんとなれば要介護者とその状態に关心を傾斜するばかりで介護を担う子どもを無視する傾向が、広く認められるからである。これは、あながち故意に行われるわけではない。子どもが要介護者の日常生活上の世話に当たることなどそもそも知らないからである。専門家といえども社会の通念と無縁の存在ではない。故意とはいひ難い無視である。そうした子どもの存在を知つてはいるが、いかように対応するべきか適切な術を知らないこともある。これは、故意とは言い難い沈黙である。子どもによる介護は、虐待などに較べるならば緊急の対処を要しないのではないかと即断して後回しにすることも少なくない。子どもが危険な状態にあると判断をしない限り、いかなる対処もなされない。介護を担う子どもの姿を時に脳裏に想い起しづながらの放置である。支援は、こうした現状にあるだけに専門家の理解を促し彼女や彼が必要な技法を習得する度合いに応じて進むことになる。

介護を担う子どもの確認が遅れ必要な援助が届けられない今ひとつの要因は、子どもに特有の事情である。例えばアセスメント請求権は、介護者の年齢階層に関わりなく等しく適用されるとはいえ、権利の名称にそれとして示されるように介護者によって請求されなければならない。このためには、かかる権利の存在とその要件について知らなければならない。子どもの理解度は、成人の介護者に較べるならば明らかに劣る。子どもの親がかかる権利とその要件についてすんでもわが子に伝え、請求に向けて背中を押すことも望み薄である。なんとなれば日常生活上の援助

をわが子に託すことを家族以外の人々に知られたくないと考える親は、少なくないからである。他方、成人の介護者は、権利に関する知識を得てその理解を進めるならばアセスメントの請求に向かうことになる。

介護を担う子どもへの支援は、社会的な周知の遅れという特別の困難を抱えるとはいえ着実な進展を記録することも、これまた確かである。こうした地位にある子どもへのアセスメントが増加の傾向を示すことは、既に述べた通りであり、S.ベッカー等の全国調査によても確かめることができる<sup>(48)</sup>。政策的な対応は、実を上げ始めていると評してよい。

## 5. 介護を担う子ども支援事業の全般的な動向

支援政策の形成は、自治体を含む公的部門によるサービスの直接的な給付を直ちに意味するわけではない。コミュニティケアを巡る議論において「供給主体の多元化」として語られてきた政策の動向を改めて想い起こしたい。介護を担う子どもへの支援事業（YCP）もこの例に漏れない。民間非営利団体が、自治体や地方保健局あるいは慈善団体などからの資金の提供を受けながら子どもの支援を行う。事業を担う代表的な非営利団体は、バーナードをはじめチルドレンズ・ソサエティー（Children's Society、1881年設立）、全国子どもの家（NCH、1869年設立）、クロスロード及び介護者のためのプリンセスロイヤル・トラストなど全国的に良く知られる組織であり、この他に地域レベルの規模の比較的小さな民間非営利団体である。

この支援事業は、国民保健サービスのマージー地方保健局（the Mersey RHA）から2年間の資金提供を受けて、セフトン市とセント・ヘレン市の2つの地域において初めて開始される。翌93年には同じマージーサイド州（Merseyside）のノーズリー市においても展開されてのち、支援事業は各地に広がる（37箇所、95年、110箇所、98年、232箇所、2003年、316箇所、2007年）<sup>(49)</sup>。

全ての支援事業は、介護を担う地域の子どものニーズに対応するべくその目的を自主的に定める。しかし、多くの支援事業の掲げる目的は、驚くほどに類似する。最も共通に見られる目的は、介護を担う子どもの問題に関する意識の啓発である。これは、こうした責任を負う子どものニーズを承認しこれに然るべく対応する上で決定的とも言うべき条件として位置付けられ、これらのニーズに相応しい独自のサービスを開発し子どもの元に届けるという第2の目的と分かれ難く結びつく。これらに加えて共通する第3の目的は、公的諸機関や他の民間非営利団体との協同である。介護を担う子どものニーズが多様であることに由来し、かかるニーズを充足するために必要欠くべからざる対応の方法である。

支援事業は、大別するならば5種類のサービスの全てもしくはその幾つかを子どもに提供する。第1に、援助グループに参加することによってレクリエーション活動の機会を得ると共に、必要な情報を手にしながら共有する悩みなどについて話し合うこともできる。余暇活動は、娯楽の機会

を子どもに提供するだけではなく、遊びに興じていかにも満足げな表情を浮かべながら帰宅するわが子の姿を目にする親にとっても安心の糧である。第2に、情報の提供である。子どもの年齢階層に相応しい内容の情報が届けられ、サービス利用の拠り所とされる。第3に、一人ひとりの子どもの話に耳を傾けながら社会生活への参加を促すことである。これは、ビーフレンディング (befriending) と呼ばれる。これを担当する職員の役割は、子どもの信頼を得ながらその話に耳を傾けることを通して、子どもが心に抱く関心を大切にして生活を送るように促すことである。このサービスは、カウンセリングの機能を併せ持つ。第4に、子どもの自宅への訪問である。これは通常親への訪問を含み、支援の必要性とその方法について調べながら手立てを講ずることになる。最後に、啓発に向けた活動である。介護を担う子どもの多くは、その権利について知らない。これを広く社会に知らせることはもとより、介護を担う子ども本人とその親への周知も欠かすわけにいかない。事業の重要なサービスのひとつである。

これらのサービスを支援事業のより具体的な展開に即して言えば、8歳から12—13歳あるいは13歳から17歳などの年齢階層別のグループの形成と運営をはじめカウンセリングを含む個別的な援助、疾病や障害、ストレスへの対応などに関する情報の提供、雑誌あるいはニュースの定期的な発行や介護を担う子ども専用のホームページの開設と子どもによる書き込み欄の設置、宿題クラブ (homework club) の運営、アウトドア活動や宿泊を伴う小旅行の企画と実施、介護技術に関する講習会の開催及び少数民族に属する子どもを独自の対象にする支援などである。

子どもがこれらの事業にすすんで参加するためには、交通手段の確保を欠かすわけにいかない。これは、とりわけ田園地帯において切実である。支援事業は、このために交通手段を用意することが少なくない。

支援事業に参加してサービスを享受する子どもの数は増加する。S.ベッカーに拠れば3万人の子どもが350を数える支援事業のサービスを享受する<sup>(50)</sup>。これは、北アイルランドを含むイギリス全体の介護を担う子ども（17万5,000人）のおよそ6人中1人（17.1%）が、サービスを受けると言い換えることもできる。しかし、支援事業の総数は、関係する2つのホームページ、すなわち、ラフバラ大学の調査研究チームとチルドレンズ・ソサエティ (The Children's Society) のいずれのホームページを見ても、350箇所には及ばない。後者のホームページに紹介される支援事業の数が相対的に多いとはいえ、それでも316箇所である。加えて、およそ3万人という計数の算出根拠も残念ながら示されない。

そこで、著者が支援事業を担当する職員に手紙を送付した上で回答を戴いた結果について併せて紹介し検討を加えてみたい。54の支援事業からサービスを受けた子どもは、5,557人を数える（表6—9）。これは、表に示すように域内の介護を担う子ども（3万9,072人から3万9,172人）の14.2%に相当する。支援事業のサービスを受ける子どもは、この計数を元に算出するならば2万4,850で

ある（17万5,000人×14.2）。この数は、S.ベッカーの示す計数よりも5,150人少ない。但し、表中スコットランド各地の39事業に絞って考えるならば、このサービスを受給する子どもの比率は、17.5%を記録する。この計数を拠り所にサービスを受ける子どもの総数を推計すれば、3万625人である。S.ベッカーの示す計数とほぼ同じ結果である。

表中ウェストランカシャー州からノース・アイルシャー州までの15を数える自治体は、人口の規模を異にする。これは、表中「域内の介護を担う子ども」に関する計数から窺うことができる。これに対して、表中最後に示すスコットランドの計数は、人口の規模が実に多様な自治体で展開する全ての支援事業に関するそれである。後者の計数は、このことから人口の偏りや支援事業の規模における多寡を平均化した結果であると考えることができる。もとよりこれが、イングランドとウェールズに関しても同じように当てはまるかどうかと問われるならば、それぞれにおける自治体の人口規模と支援事業の展開状況から、なお検討しなければならない課題を残すと答えざるを得ない。

スコットランドの諸事業に即した著者の計数とS.ベッカーによるそれとは、確かに判断の拠り所を異にする。一方は、支援事業当たりの子ど�数が相対的に多いと見なすのに対して、他方は各地に展開する支援事業が多いと理解する。こうした相違を伴うとはいえ、結論の近似性が一応確認され、氏がこの国の介護を担う子どもとその支援事業を最も良く知る研究者であることから、ここでは氏の結論に従いたいと考える。

ともあれ支援事業が92年に開始された当時に、かかるサービスを受ける子どもは2つの事業を合わせても27人を記録するに過ぎない<sup>(51)</sup>。してみると支援事業は、92年から2007年の15年間にその受給対象を格段に広げたことになる。

支援事業によるサービスの提供は、介護を担う子どもを対象にする全ての事業にいかなる位置を占めるであろうか。S.ベッカー等の調査に従えば調査対象に拾い上げられた介護を担う子ども（40人）の10人中8人以上（85.0%）が支援事業、同じく10人中3人以上（35.0%）が自治体社会サービス部のソーシャルワーカーや同じく教育部の学校看護師など公共部門のサービスを享受する<sup>(52)</sup>。してみると民間非営利団体が先駆的に着手し各地に広がりを示す支援事業が、公共部門による直接のサービス給付よりも遙かに多くの子どもを対象にすることになる。「供給主体の多元化」と称される事態は、介護を担う子どもの支援についても進むのである。もとよりここにおける「多元化」は、供給主体の性格に照らすならば民間非営利団体を主な担い手とするものであり、同じ民間に属するとはいえない営利団体を主な供給主体として登場させることになった在宅サービスや施設介護の場合とは、異なる。

表6-9 介護を担う子ども支援事業のサービス受給比率(2004—2007年)

	実数(人)		サービス受給比率 ((A)/(B)) (%)
	サービス受給の 子ども(A)	域内の介護を 担う子ども(B)	
メドウェイ市(2004年1月)	130	700	18.6
ウエストランカシャー州(2005年度)	92	300—400	23.0—30.7
コンウェイ市(2005年度)	84	400	21.0
エデン市(2006年度)	130	392	33.2
ス温ンドン市(2006年度)	125	422	29.6
ロンドン・バーネット自治区(2007年6月)	250	1,000	25.0
ロンドン・ハマースミス・フラム自治区(2006年度)	200	3,000	6.7
ハートフォードシャー州(2006年度)	379	8,000	4.7
ノーフォーク州(2007年8月)	120	1,972	6.1
サザンプトン市(2007年9月)	100	700	14.3
ポートマス市(2007年7月)	350	350	100.0
モレイ市(2007年5月)	250	1,000	25.0
エジンバラ市(2006年度)	100	3,000	3.3
ノース・タインサイド州(2006年2月)	275	770	35.7
ノース・アイルシャー州(2007年9月)	49	365	13.4
スコットランド(2005年4月—2006年3月)	2,923	16,701	17.5
計	5,557	39,072—39,172	14.2

(資料) NCH CYMRU, Conwy young carers strategy and action plan 2006, NCH CYMRU, 2006, p.3, A Letter from Julie Gaulton (Young carers co-ordinator, Eden Carers) to Kiyoshi MITOMI dated 27<sup>th</sup> June 2007, A Letter from Sarah Norris (Young carers development worker, PRT Swindon Carers Centre) to Kiyoshi MITOMI dated June 21, 2007, A Letter from Harbhajan Paurewal (Carers' centre manager, PRT Hammersmith & Fulham Carers Centre) to Kiyoshi MITOMI dated 2<sup>nd</sup> July 2007, A Letter from Cindy Honour (Project manager, Carers in Hertfordshire) to Kiyoshi MITOMI dated 17<sup>th</sup> July 2007, West Lancashire Young Carers, Fourth report, 1<sup>st</sup> August 2005- 31<sup>st</sup> July 2006, West Lancashire Young Carers, p.8, A Letter from Audrey Peacocke (Head of service, Edinburgh Young Carers Project) to Kiyoshi MITOMI dated 12<sup>th</sup> July 2007, PRTC, Report on 2006 survey of Scottish young carers projects, PRTC, 2007, p.5, Scottish Executive, Report of the JPIAF sub-group on single shared assessment, performance measures, performance measure for carers' assessment-consultation paper, Scottish Executive, p.3, <http://www.scotland.gov.uk/consultations/health/jpiaf-14.asp>, A Letter from Billie Shipman (Young carers development worker, Portsmouth City Council) to Kiyoshi MITOMI dated 16<sup>th</sup> August 2007, PRT Barnet Carers Centre, <http://www.carers.org/local/london/barnet/>, Moray Council, Moray carers' strategy, 2007-2010, draft, Moray Council, 2007, p. 4 and p.24, Norfolk Young Carers Project, Information about the Norfolk Young Carers Project, Norfolk YCP, August 2008, p.1, A Letter from Project Manager Young

Carers (Southampton Voluntary Services) to Kiyoshi MITOMI dated 3<sup>rd</sup> September 2007, A Letter from Karen Gilmartin (MSW Student, North Ayrshire Carers Centre) to Kiyoshi MITOMI dated 3<sup>rd</sup> September 2007, North Tyneside Council, North Tyneside young carers, delivery plan, 2006-2009, North Tyneside Council, 2006, p.3, North Tyneside Council, North Tyneside young carers' strategy, 2006-2006, North Tyneside Council, 2006, p.3, North Tyneside Council, Extra support promised for North Tyneside young carers, North Tyneside Council, 2006, p.1, Medway Council, Education and lifelong learning overview and scrutiny committee, 22 January 2004, Medway Council, p.2より作成。

殆どの子どもは、支援事業とかかわりを持つ以前に関する限り、その介護責任について話す機会はもとよりいかなる援助も受けていない<sup>(53)</sup>。これは、92年から93年にかけて最初に発足した支援事業に関する調査研究報告書（95年）の中で与えられた評価である。政策的な対応の遅れを明らかにすると共に、民間非営利団体による支援事業の効果を間接的に評価する内容に他ならない。同様の評価は、この報告書の公刊された当時はもとより、その後も多方面から表明される。これは、支援事業を担う民間非営利団体の公刊する事業報告書や独自の調査報告書などから容易に読み取ることができる<sup>(54)</sup>。支援事業に参加する子ども自身の積極的な評価もさることながら、こうした子どもの姿を見て取った親や教師あるいはソーシャルワーカーも一様に積極的な評価を与える。

支援事業の効果は確かに大きい。この効果をさらに広げ深めるためにも、支援事業の直面する諸問題について正当に目配りをしなければなるまい。諸問題はいずれも財源の手当てに起因する。

支援事業は、既に述べたように自治体や慈善団体からの助成金を財源にする。これは、一つの例外もなく1年ないし3年などの期限付きである。民間非営利団体は、支援事業を運営して子どもと向き合いながら次の年度を見越して資金を算段しなければならない。支援事業の半数近くは、将来の財源の手当てに確信が持てないとの調査結果も伝えられる（106事業中52事業、49.1%、97年）<sup>(55)</sup>。財源の調達が功を奏する場合においても、それが計画に見合う程に充分な金額であるかどうかは、自ずと別の問題である。支援事業の担当者は、著者による調査に答えながら財源の不足について異口同音に指摘をする。この不足とは、介護を担う子どものニーズを充足する財源の絶対額の不足はもとより、継続的に財源を確保する保障の欠如という今ひとつの事情も意味する。これを裏付けるように別の調査結果は、半数以上の支援事業が資金の不足状態にあると伝えている（59事業中36事業、61.0%、2001年）<sup>(56)</sup>。

これらの結果は、支援事業を担う職員の規模と構成に影響を与える。サービスを担う主体の多くはパートタイマーとボランティアである（表6-10）。パートタイマーといえどもその週当たり労働時間は、イギリスのこの種の就業形態がおしなべてそうであるように短い。一例を挙げよう。ある支援事業を担う4人の職員は、いずれもパートタイマーである。週労働時間別には24時間を

はじめ同じく21時間、18.5時間及び7時間である。4人の総労働時間は週当たり70.5時間である<sup>(57)</sup>。これは、週35時間を所定の労働時間とする2人のフルタイマーの総労働時間70時間にはほぼ同じである。ちなみにこの4人はいずれも女性である。性別には、この事例に象徴されるように女性を主力にする。男性職員の採用を希望するけれども、これに見合う賃金水準を用意することができず、やむなく女性職員の採用に甘んじなければならない。次の年度の資金を手当てし得ないことから職員の解雇に踏み切らなければならない例も、悲しい現実の一こまである。

社会サービスを担う民間非営利部門の職員は、性別には女性、雇用形態別にはパートタイムが多いと指摘されて久しい<sup>(58)</sup>。こうした特徴は、介護を担う子どもの支援事業に照らすとき今日も変わらずに続く、と評することができる。

財源の不確かさは、職員に影響を及ぼすに止まらない。それは、巡りめぐって介護を担う子どもにも影を落とす。支援事業は、言うまでもなく対人サービスの一種である。サービスを担う職員の数と労働時間の長さとが、財源によって枠をはめられることを考えるならば、その行き着く先を容易に想像することができよう。ここでは3つの事例を紹介したい。

そのひとつは、事務所の移転である。子どもが比較集まりやすい場所に長らく置かれた事務所は、これに見合う資金を工面し得なくなるや、やや辺境な地域へと移転を余儀なくされる。今ひとつは、待機者名簿の存在とそこに記載される子ど�数の少なくないことである。この種の名簿は、国民保健サービスに伝統的に存在し、1年以上も医療サービスの給付を待ち続ける国民さえ記録されるとして議論的になる程である。介護を担う子どもへの支援事業も例外ではない。待機者名簿の存在を伝える支援事業は多く、それは一般的な存在である。そこに記載される子どもの数も黙視するわけにいくまい。なんとなれば介護を担う子どもとして支援事業に照会されながら、職員による確認を待つ子どもの数は多いからである（表6-11）。さらに、支援事業の終了である。支援の実績を然るべく記録し子どもはもとより親や教師などから高い評価を得るにもかかわらず、必要な資金を確保し得ないことを唯一の理由に事業の終息を伝えなければならないのである。政府の文書が、介護を担う子どもへの支援を約束しながら、そうした下においてさえ生じている現実の一こまである。

表6-10 支援事業を担う職員等の雇用形態別構成(1995-2007年)

(単位：人、%)

	1995年-2007年 <sup>(1)</sup>		1998年 <sup>(2)</sup>	
	実数(A)	1支援事業平均人員(B)	(A)	(B)
フルタイマー	30	0.94	41	0.73
パートタイマー	85	2.66	73	1.30
期間限定職員	8	0.27	21	0.38

ボランティア	13	0.42	122	2.18
計	136	4.25	257	4.59

(資料) Bradford Young Carers Schme, Annual report 2000-2001, Bradford YCS, 2001, p.7, Barnardo's Easington YCP, Annual report 2000/2001, Bardardo's Easington YCP, 2001, p.3, Barnardos North West, Action young carers project, Annual report 1998/99, Barnardos North West, 1999, pp.10-11, Barnardos, Action with young carers Bolton, service description and referral criteria, Barnardos, p.2, Barnardos Bristol Young Carers Scheme, Annual report 1998/99, Barnardos Bristol YCS, p.1, Barnardos Bristol YCS, Annual report 1997-1998, Barnardos Bristol YCS, 1998, p.1, Kirklees Young Carers, Annual report 2996/97, Kirklees Young Carers, 1998, p.16, Macclesfield YCP, 1995-1998, a summary of learing and work undertaken during three year joint finance funding, Macclesfield YCP, 1998, p.1, North Somerset Crossroads, The Young carers project, North Somerset Crossroads, 1998, p.1, Norwich & District Carers Forum, Young carers schools project, report from September 1997 - May 1998, Norwich & District Carers Forum, 1998, p.1, Sheffield YCP, Second annual report October 1997 - October 1998, Sheffield YCP, 1998, p.5, South Cheshire YCP, Final report of work undertaken 1996-1999, Cheshire YCP, 1999, p.5, South Cumbria Young Carers, The Facts, Souht Cumbria Young Carers, 1996, p.1, Suffolk Young Carers, Project evaluation, summary, Suffolk Young Carers, 1997, p.2, Barnardos, Willow YCS, Annual report April 1998 - March 1999, Barnardos, 1999, p.1, Barnardos, Willow YCS, Annual report April 1996 - March 1997, Barnardos, 1997, p.2, Wiltshire YCP, Annual report 1996/97, Wiltshire YCP, 1997, p.4, A Letter from Julie Gaulton (Young carers co-ordinator, Eden carers) to Kiyoshi MITOMI dated 27<sup>th</sup> June 2007, A Letter from Sarah Norris (Young carers development worker, PRT Swindon Carers Centre) to Kiyoshi MITOMI dated June 29, 2007, A Letter for Wrexham Young Carers to Kiyoshi MITOMI dated 30<sup>th</sup> June 2007, Carers of West Lothian, West Lothian young carers partnership project, business plan, 2006 to 2009, Carers of West Lothian, 2006, p.24, A Letter from Lynn Hull (Development worker, North Argyll Carers Centre) to Kiyoshi MITOMI dated 23<sup>th</sup> July 2007, A Letter from Lizzie Rangeley (Project worker, Barnsley YCP) to Kiyoshi MITOMI dated 11<sup>th</sup> July 2007, A Letter from Tanya Chan-Sam (Manager, Sheffield YCP) to Kiyoshi MITOMI dated 23 July 2007, A Letter from Val Owen (West Lancashire Young Carers) to Kiyoshi MITOMI dated 23<sup>th</sup> July 2007, A Letter from Andrey Peacocke (Head of service, Edinburgh YCP) to Kiyoshi MITOMI dated 12<sup>th</sup> July 2007, A Letter from Cindy Honour (Project manager, Carers in Hertfordshire) to Kiyoshi MITOMI dated 17<sup>th</sup> July 2007, Jo Aldridge and Saul Becker, The National handbook of young carers projects, 1998 edition, CNA, pp.12-119, A Letter from Carolyn Baber (Project leader, Fenland Young Carers) to Kiyoshi MITOMI dated 24<sup>th</sup> July 2007, Stirling Carers Centre, Annual report 2006/2007, Stirling Carers Centre, 2007, p7, A Letter from Allison Wandell (Young carers services manager, Calderdale Council) to Kiyoshi MITOMI dated 15<sup>th</sup> August 2007, York & Selby District Carers Centre, Annual report, April 2000-March 2001, York & Selby District Carers Centre, p.18, A Letter from Project Manager Young Carers (Southampton Voluntary Services) to Kiyoshi MITOMI dated 3<sup>rd</sup> September 2007, A Letter from Jo German (Development Manager, Ormiston Children & Families Trust) to Kiyoshi MITOMI dated 2<sup>nd</sup> September 2007, A Letter from Karen Gilmartin (MSW Student, North Ayrshire Carers Centre) to Kiyoshi MITOMI dated 3<sup>rd</sup> September 2007より作成。

(注)(1) 職員等の数は29の支援事業の総数である。

(2) 職員とボランティアの数は56の支援事業の総数である。この56事業は、110事業の内雇用形態等の判明しているそれである。

介護を担う18歳未満の子どもに対する支援が進む一方において、18歳以上24歳以下の相対的に若い介護者（younger adult carers）への支援が遅れていることである。この年齢階層の介護者は、実数にして20万人を超す（21万9,198人、2001年）。介護を担う子どもに関する調査研究が進み、これに促されながら支援が展開される。他方では、大人の介護者（adult carers）の概念化も手掛けられ、これを背景に各種の法制度も整備される。18歳以上24歳以下の相対的に若い介護者がこれらの法制度の枠外に置かれるわけでは、もとよりない。しかし、この年齢階層の介護者に関する議論が、介護を担う18歳未満の子どもや大人の介護者に較べるならば著しい程に乏しく、結果としてサービス給付のはざまに取り残されるのである。介護を担う子どもへの支援事業の進展を確かめるにつけ、忘れるわけにいかない問題の一つとして指摘しておかなければなるまい。

表6-11 支援事業の待機者名簿記載子ども数の事例と待機比率(1996-2007年)<sup>(1)</sup>

(単位：人、%)

	支援事業と子ども			待機の子ども比率 (B) (C)
	事業のサービス受給子ども数(A)	待機者名簿記載子ども数(B)	サービス受給子どもと待機の子どもの合計 (A)+(B)=(C)	
1996年6月18日	35	3	38	7.9
1999年3月31日	44	20	64	31.3
2000年3月31日	58	32	90	35.6
2001年3月31日	78	28	106	26.4
2001年3月31日	30	9	39	23.1
2007年3月31日	75	7	82	8.5
計	419	99	518	19.1

(資料) Barnardo's North West, Action with young carers project, annual report 2000/2001, Barnardo's North West, 2001, p.19, Barnardos North West, Action with young carers project, annual report 2001/2002, Barnardos North West, 2002, p.9, Barnardos North West, Action young carers project, annual report 1998/99, Barnardos North West, 1999, p.6, Cheshire Carers Centre and als, Young carers in Cheshire, a progress report by the YCP at Halton and Macclesfield, Cheshire Carers Centre and als, 1996, p.14, Sandwell Young Carers, Annual report 1999, Sandwell Young Carers, 1999, p.15, A Letter from Kath Price (Project co-ordinator, Conwy YCP) to Kiyoshi MITOMI dated 26<sup>th</sup> June 2007 より作成。

(注)(1) 6箇所の支援事業に関する事例である。

介護を担う子どもを取り巻く社会環境は、92年から2007年の15年間に大きな変化を記録する。92年には、介護を担う子どもの規模に関する政府の調査結果はもとより信頼に足る計数は、存在しない。これが2001年には『国勢調査』の調査項目として正当に拾い上げられ、その結果は3年後

の2004年に公表され広く共有される。かかる役割を担う子どもに関する調査研究も、92年にはごく初期の段階に止まる。その後における調査研究の進展は著しく、国内はもとより国際的にも少なくない影響を及ぼす。支援事業は僅か2ヵ所で着手されるに過ぎないのでに対して、これも既に述べたように300ヵ所程を記録する。92年には介護を担う子どもに焦点を当てたいとなる法制度も存在しなかったのに対して、95年を画期に法的な権利とこれを実際に担保する政策も整備される。介護を担う子どもの存在をそれとして認識しその役割を承認する試みは、92年当時に社会的にはもとより、その職責に照らして子どもと日々接する立場の専門家さえ際立って少なかったのに対して、かかる認知は格段に広がりを記録する。92年には、僅かに1本のドキュメンタリー映像がテレビを通して流されるに止まるものの、その後15年間に8本のドキュメンタリー番組が編成されお茶の間に届けられる。

15年の歳月における変化は、以下のように評することもできる。すなわち、英国介護者協会などの主催による討論会（93年）に提起された介護を担う子どもの権利を改めて引き合いに出すならば、支援事業が開始されその対象が広がったことは、かかる権利として定式化された内容が子どもにサービスとして届けられ始めたことを意味する。同時に、週50時間以上の介護を担う子どもの存在も忘れるわけにいかない。これには、5歳児を含む義務教育就学年齢に属する子どもも含まれる。先の16項目に及ぶ権利の冒頭に掲げられる自己決定と選択の権利は、この事実に注目するならばどの程度に実現されたと言い得るであろうか。18歳にも満たない子どもが週50時間を超える時間を自らすんで介護に充てると、理解し難い。そうした状態に置かれる子どもは、いかように学校生活を送り友達との交わりを保つのであろうか。家族全体へのアプローチもしくは家族志向のアプローチの視角が改めて思い起こされ、要介護者へのサービス給付の拡充と相俟つて子どもの自発的な選択が文字通りの意味において担保されなければなるまい。

## 6. シェフィールド市における支援事業の展開

シェフィールド市における支援事業（SYCP）は、96年11月に始まる。ブリストル市（City of Bristol）などの3つの市（他にCity of Chorley, City of Hull）における事業と共にこの種の事業の中で68番目の開始である。当初は、クロスロードの事務所内に設置される。2年後の98年には市の中心街の一角にある建物に移動して、3つの部屋を確保しながら事業を展開する。当初から3人のフルタイム職員と1人のパートタイム職員の他に2人の臨時職員と8人のボランティアを加えて事業の運営に当たる<sup>(59)</sup>。現在は7人の職員を数える（2007年）。職員とりわけフルタイム職員の相対的な多さが、前出の表6—9の計数と較べるならば了解されるように特徴的である。支援事業のサービスを受ける子どもは、このために当初から少なくない（66人、97年9月—98年8月、75人、98年9月—99年8月、50—60人、2007年8月）<sup>(60)</sup>。

支援は、主に3つの目的に沿って運営される。

まず、疾病や障がい、精神疾患あるいは薬物やアルコール依存症の人の介護に当たる21歳未満の子どもに対する支援である。支援を受ける子どもの平均年齢は13歳であり、全国平均（12歳、97年、2003年）に較べてやや高い。対象とする子どもの年齢の上限が、他の支援事業に較べるならばやや高く設定されていることの結果である。性別の構成は女子が過半を超す（57%、男子43%）。これは、全国平均と同じ比率である。人種や民族別の構成では、少数民族に属する子どもの支援を打ち出すシェフィールド事業の特徴を反映して、少数民族に属する子どもがおよそ30%を記録する。支援事業全体の平均（16%、2003年）よりも明らかに高い。ちなみに少数民族に属する5歳以上17歳以下の子どもは、同一年齢階層の12.5%（2001年）に過ぎない。この結果と先の計数とを較べるならば、シェフィールド市の事業がいかに少数民族に属する子どもの支援に力を注いでいるかについて理解することができよう。4人中3人近くの子どもは、一人親家族に属する（74%）。これは、支援事業全体の平均（56%）の1.5倍に近い高さである。これは、地域におけるこの種の家族形態の相対的な多さの反映であり、これを正当に視野に収める支援事業の展開の故でもある。

支援事業の開始当初には、目的に適う子どもに等しく対応してサービスを提供する。しかし、これは、待機者名簿に記載される子どもの数が増えるにつれて、緊急を要すると判断される子どもにやや優先的な対応を施す方法へと変更を迫られる。職員の相対的に多いこの事業においてさえ確認される事態である。結果としてそのような判断を下されない子どもは、待機者名簿にその氏名を記載され職員からの連絡を待ち続けることになる。

いまひとつの目的は、介護によって制限される子どもの社会生活をはじめ余暇活動、教育及び就業の機会を拡充することである。シェフィールド市は、社会的剥奪（deprivation）に関する諸指標のうち就業のそれが353自治体中5位、所得のそれが同じく6位を記録する（2004年）<sup>(61)</sup>。介護を担う子どもが多くが一人親家族に属するだけに、所得水準の低さは、殊のほかに顕著である。家族の貧困と社会的な剥奪は、子どもの期待に反して余暇活動への参加の機会を失わせる。支援事業の企画する余暇活動への参加は、それだけに子どもとその親たちにとって高く評価される。支援事業の提供する余暇活動は、これらの子どもたちにとって数ある余暇活動の一つではなく唯一のそれである。

職員の一人が担うキャリアアドバイザーの役割も介護を担う全ての子ども、とりわけ学校をしばしば欠席する子どもにとって殊の他に重要である。アドバイザーは、こうした子どもとごく日常的に接しながら教育と就業に関する援助を行う。

第3の目的は、介護を担う子どもとそのニーズに関する意識の啓発である。これは、自治体の社会サービス部や教育部、地方保健局及び地域の民間非営利団体の職員並びにボランティアを対象に事業の開始当初から試みられる。啓発の目的は多岐にわたる。まず、介護を担う子どもの存在

をより効果的に確認するために、子どもの介護経験とニーズについて職員やボランティアを対象に教育することである。さらに、支援事業に関する情報を提供し、支援に向けてどのように子どもを照会するかその方法について伝えることである。

最後に、自治体はもとより他の民間非営利団体自らも介護を担う子どもに対する責任を負うことから、それぞれの機関や団体が自主的に支援を進めるための方法等について、必要な情報を提供することである。支援事業は、その規模や期限付きの資金による運営を考えるならば、介護を担う子どものニーズに全て対応できるわけではなく自ずと限界を伴う。公的な機関からの資金の提供を受けるとはいって、自治体等に課せられる法的な責任をこぞって引き受けことなど不可能であり、かかる責任の内容に照らしてそもそも望ましいことでもない。支援事業は、かくして他の機関や団体と歩調を合わせることによってこそ効果的に進められる。

これらの目的に沿って多様な活動が展開される。

介護を担う子どもと職員もしくはボランティアとの一対一による対応やグループ活動を通した支援などである。このうち一対一の対応は、職員に担われるだけではなくボランティアによっても行われる。ボランティアは必要な訓練を受けるに止まらず、これに加えて職員による援助と監督の下に対応することから、確信を持って子どもに対応することができる。グループ活動は、およそ10人から15人の子どもを以って構成され、その活動は週に1度催される。その多くは余暇に費やされる。子どもがグループに属することによって他の子どもと興じ、そこから学び取ることも多い。

子どもの生活の全ての側面、とりわけ教育と職業訓練及び就業に関する助言と情報を提供し、必要な援助を行うことも活動の一つである。宿題クラブとは、子どもが支援事業の事務所に宿題を持参し、事務所に備えてあるインターネット等も利用しながら宿題をやり終えることから名付けられる。職員は、時間の一部を宿題の援助に充てる。16歳以上の子どもに介護者支援の情報を伝えることはもとより、子どもが介護者手当の申請を行うに当たってその手助けに乗り出すことも業務の一部に組み入れられる。子どもの親に対してもこれと同様の対応を行う。コミュニティケアのアセスメントを受け、社会サービスと所得保障の要件を充たすならば、その申請を後押しする。これはこれで給付対象としての親はもとより、子どもにも連なる利益の一つである。

介護を担う子どもに関する訓練を広く手掛けることも、活動の一環である。自治体の社会サービス部はもとより教育部、地方保健局や民間非営利団体の職員を対象にする訓練である。これは、通常介護を担う子どものニーズと権利、こうした子どもの存在の効果的な確認と援助の方法、現行の法制度の子どもとその家族への影響及び支援事業の概要等の主題から構成される。

介護を担う子どもに対する効果的な援助の方法を公的機関や他の民間非営利団体と共に開発し普及することも、活動の欠かすわけにいかない活動である。支援事業は、シェフィールド市の介

護を担う全ての子どもとそのニーズに対応できるわけではない。支援事業の実施主体が、他の民間非営利団体や公的機関にとって一つの有用な資源としてその活動を展開するならば、支援事業は、子どもとその家族のニーズにより効果的に対応することができる。しかし、子どもの照会の多くは、公的部門からのそれであり、民間非営利団体によるそれはいかにも少ない。

介護を担う子どもの多様な存在を認めそのニーズに対応することも、活動の一つである。いかなる事業といえども地域の実情を充分に考慮することなしには、その成功も覚束ない。支援事業は、介護を担う黒人の子どもを専門に担当する職員を配置する。これによって少数民族の多く居住する地域の介護を担う子どもについてその存在を確認し、必要なサービスを提供する。地域の実情に根ざす活動の一つである。支援事業の対象である子どもの多くは、パキスタン系住民の集中する地域に暮らす。

最後に、支援事業の評価も活動の一環である。かかる評価は、職員と事業の管理委員会にとって大切である。これは、年次報告書における評価や支援事業担当職員による評価報告書の作成の他に、外部の専門家による独自の評価としても実施され、その後の活動の拠り所として活用される。このうち年次報告書における評価は、法的な定めに即して全ての支援事業において実施されるとはい、独自の評価は、シェフィールドを含めて数例（ミルトン・ケインズ、セフトン、セント・ヘレン、ロンドン・サザック、ノッtingham、ノーズリー）に止まる<sup>(62)</sup>。このうちシェフィールドの支援事業は、精神障がいを抱える親の世話を当たる子どもの比重が他の事業に較べて相対的に高いことから、これらの子どもに対する支援事業の効果についても独自の評価を行い、これをその後の事業計画に生かしていることが、今ひとつの特徴である。

介護を担う子どもによる評価は高い。余暇活動とりわけ宿泊を伴う旅行への評価は、格別に高い。同じ立場にある子どもの存在を知り話し合うことで、自分が一人ではないと実感する子どもは少なくない。自宅を離れて同世代の子どもと遊びに熱中する機会を久しぶりに得ることから、自ずと充実感も高まるのである。職員やボランティアに容易に話しかけることができることも、好評の理由である。支援事業に批判的な意見はない。

支援事業は子どもを対象にし、子どもの親との明確なかかわりをそれとして目的に謳うわけではない。しかし、支援事業の円滑な実施は、親の協力や同意あるいは信頼を得ることなしには覚束ない。職員は、障がい者の権利を重視する立場から発せられる介護を担う子どもの概念化とそのニーズに沿う支援に批判的な議論のあることを、充分に知っている。職員は、こうしたことから子どもはもとより親への支援も手掛ける。多くの親は、わが子が余暇活動に参加することを望むだけではなく、同じ境遇にある子ども達と会うことにも期待感をにじませる。親は、支援事業に参加する子どものいかにも満足そうな表情を垣間見ながら、支援事業を積極的に評価する。批判的な声は、子どもと同じように親からも出されない。

これらの高い評価を引き続き維持し、更に広げていくためには解決の迫られる課題もある。

シェフィールド市の介護を担う子どもは、およそ2,500人を数える。このうち週20時間以上の介護を担う子どもに限っても405人、同じく週50時間以上の子どもは183人である（2001年）<sup>(63)</sup>。これだけの子どもに対応するためには、支援事業の拡充が図られなければならない。しかも、職員による一対一の対応や宿題クラブなどの活動を考えるならば、事務所に通う子どもの利便性を考慮に入れなければならない。この拡充は、現行の事業の拡充はもとより併せて市内の別の場所における新規の開始としても検討されることが、望まれる。

資金の確保は、支援事業の開始当初から変わらぬ課題である。他の少なくない支援事業が、ごく短期の資金に依存せざるを得ないことから抱えざるを得ない諸問題を回避するためにも、より永続的で適切な額の資金が手当てされ、これによって支援事業の拡充を担保しなければならない。基本的でありながら、最も大きな課題である。資金の工面に奔走する職員たちの労苦が偲ばれる。

#### （注）

- (1) 抽著『イギリスの在宅介護者』ミネルヴァ書房、2000年、394—395頁。
- (2) Roger W.Page, Report on the initial survey investigating the number of young carers in Sandwell secondary schools, Sandwell MBC, 1989, Sandwell Caring for Carers Project, Child carers report, Sandwell Caring for Carers Project, 1989, pp.1-7 and appendix.
- (3) Alex. O' Neil, Young carers; the Tameside research, Tameside MBC, 1988, Tameside MBC, Towards a strategy for carers, young carers, Tameside MBC, 1992, pp.1-10.
- (4) 抽著『イギリスの在宅介護者』前掲、56頁。
- (5) CNA and Community Care, Young carers back them up, report of a multi-disciplinary conference supported by the British Medical Association, CNA, 1995, p.2.
- (6) Meredith. H, Young carers; the unacceptable face of community care, Social Work and Social Sciences Review, supplement to Vol.3, 1991, pp.47-51, Meredith. H, Young carers, Contact, Summer 1991, pp.14-15.
- (7) Gail Hunt and als, Young caregivers in the US. report of findings, National Alliance for Caregiving, 2005, p.11, Ros Morrow, A Profile of known young carers and identification and snapshot of the ones who are hidden, Curtin University of Technology, 2005, pp.1-110, Joy Merrell and als, Support needs of carers of dependent adults from a Bangladesh, Journal of Advanced Nursing, 51(6), 2005, pp.549-557, Angela Underdown, I'm growing up too fast; message from young carers, Children & Society, Vol.16, 2002, pp.57-60, Elsbeth Robson, Invisible carers; young people in Zimbabwe's home-based healthcare, Area, 32.1, 2000, pp.56-69, Elsbeth Robson, Hidden child workers; young carers in Zimbabwe, Antipode, 2004, pp.227-248, Ministry of Social Development, Caring for New Zealand carers, your life, your work, your say, Ministry of Social Development, 2007, p.15, Saul Becker and als, Young carers in Europe, an exploratory cross-national study in Britain, France, Sweden and Germany, Loughborough University, 1995, pp.81-82.
- (8) 抽著『イギリスの在宅介護者』前掲、479—480頁。

- (9) Saul Becker, Young carers in Davies. M and als, *The Blackwell encyclopedia of social work*, Blackwell, 2000, p.378.
- (10) Jo Aldridge and Saul Becker, *Children who care, inside the world of young carers*, Loughborough University, 1993, p.vii and p.1.
- (11) Saul Becker, Jo Aldridge and Chris Dearden, *Young carers and their families*, Blackwell, 1998, p.xi.
- (12) CNA, *About young carers*, CNA, 1995, p.1, Chris Dearden and Saul Becker, *Young carers and education*, Carers UK, 2002, p.1.
- (13) Department of Family and Community Services, *Young carers research project final report*, DFCS, 2002, p.6.  
介護を担う子どもに関するオーストラリアの最初の調査は、15歳以上44歳以下の相対的に若い介護者(younger carers)を対象にする。この定義は、この調査の限りである。Emma Williams, *Forfeiting their futures, a report on younger carers contributions and needs*, Carers Association of Australia, 1996, p.v.
- (14) Michele Wates, *Young carers; disabled parent's perspective*, Disabled Parents Network, 2000, pp.1-4, Lois Keith and Jenny Morris, *Easy targets; a disability rights perspective on the children as carers' debate*, Critical Social Policy, 44/45, 1995, pp.12-13, Gilliam Parker, *Where next for research on carers?* Nuffield Community Care Study Unit, Leicester University, 1994, p.39 and p.56, Dr.Jenny Morris, *Easy targets: a disability rights perspective on the young carers' debate*, in DoH, *Young carers, something to think about*, papers presented at four SSI workshops May-July 1995, DoH, 1995, p.45 and p.57.
- (15) Jo Aldridge and Saul Becker, *Disability rights and the denial of young carers*, Critical Social Policy, Vol.16(3), August 1996, pp.56-58, pp.65-66 and p.71.
- (16) Sandwell Caring for Carers Project, op.cit., p.5, Tameside MBC, op.cit., pp.6-9.
- (17) Chris Dearden and Saul Becker, *Young carers, the facts*, Community Care, 1995, pp.23-26, Chris Dearden and Saul Becker, *Young carers in the UK*, CNA, 1998, pp.44-51, Chris Dearden and Saul Becker, *Young carers in the UK, the 2004 report*, Carers UK, 2004, p.11.
- (18) Department of Health, *Young carers, something to think about*, report of four SSI workshops May-July 1995, op.cit., p.11, Barrie Fiedler, *Young carers, making a start*, report of the SSI fieldwork project on families with disability or illness, October 1995- January 1996, DH, 1996, p.27.
- (19) Chris Dearden and Saul Becker, *Growing up caring, vulnerability and transition to adulthood-young carers' experiences*, Joseph Rowntree Foundation, 2000, p.44.  
S.ベッカー等は、子どもが介護を担うことになる最も重要な要因として疾病もしくは障害を抱える血縁者へのサービス給付の乏しさについて指摘する。家族全体へのアプローチを採用すればこそその指摘である。Chris Dearden and Saul Becker, *Young carers and education*, Carers UK, 2002, pp.1-2.
- (20) Saul Becker, Jo Aldridge and Chris Dearden, *Young carers and their families*, Blackwell, 1998, p.23.
- (21) Jo Aldridge and Saul Becker, *Children caring for needs with mental illness, perspectives of young carers, parents and professionals*, The Policy Press, 2003, p.23.  
パーキンソン病を患う親の半数は労働市場から引退し、5歳から12歳の年齢階層に属する子どもによ

- る日常生活上の援助を受けている、との調査結果もある。Roger Grimshaw, Children of parents with parkinson's disease, a research report for the Parkinson's Disease Society, National Children's Bureau, 1991, p.30.
- (22) Gillian Parker and Richard Olsen, A Sideways glance at young carers, University of Leicester, 1995, p.6.
- (23) Sandwell Caring for Carers Project, op.cit., about Sandwell.
- (24) Ann Mahon and Joan Higgins, A Life of our own, young carers; an evaluation of the three RHA funded projects in Merseyside, The University of Manchester, 1995, p.28, Ann Mahon and Joan Higgins, Young carers; an evaluation of three RHA funded projects, The University of Manchester, 1995, p.1.
- (25) Alison Walker, Young carers and their families, a survey carried out by the Social Survey Division of the ONS on behalf of the Department of Health, TSO, 1996, pp.3-4.
- (26) Gillian Parker, Where next for research on carers? University of Leicester, 1994, p.7.
- (27) Cawson P, Child maltreatment in the family; the experiences of a national sample of young people, NSPCC, 2002, p.12.
- (28) Jo Aldridge and Saul Becker, Children caring for parents with mental illness, op.cit., p.16.
- (29) Scottish Executive, Report of the JPIAF sub-group on single shared assessment performance measures, performance measures for carers' assessment- consultation paper, annex 1, 2001 census information about the numbers of carers in Scotland, Scottish Executive, 2007, p.2. <http://www.scotland.gov.uk/consultation/health/jpiaf-10.asp>.
- (30) National Statistics, Census 2001, national report for England and Wales, TSO, 2004, p.56, Scottish Executive, Report of the JPIAF sub-group on single shared assessment performance measures, performance measures for carers' assessments- consultation paper, op.cit., p.2.
- (31) Chris Dearden and Saul Becker, Young carers, the facts, op.cit., p.13, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, op.cit., p.9, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, op.cit., p.3.
- 女性が半数以上を占めることは、アメリカやオーストラリア等の調査の伝えるところでもある。Gail Hunt and als, Young caregivers in the U.S., op.cit., p.5, Debbie Noble-Carr, Young carers research project, background papers, Carers Australia, 2002, p.19.
- (32) ONS, Census 2001, national report for England and Wales, TSO, p.129.
- 南アジア系の住民の住む地域の介護を担う子どもに関する調査によれば、その家族形態別構成は、両親と住む子ども10人(52.6%)をはじめ母親と暮らす子ども4人(21.1%)、父親と暮らす子ども2人(10.5%)、祖父母と暮らす子ども1人(5.3%)、母親の入院のため子どもだけで暮らす2人(10.5%)である。母子世帯と父子世帯の子どもは、あわせて8人(42.1%)を占める。Robina Shah and Chris Hatton, Caring alone, young carers in South Asian communities, Barnardos, 1999, p.26.
- (33) Chris Dearden and Saul Becker, Young carers, the facts, op.cit., p.77.
- (34) Rosemary Marsden, Young carers and education, London Borough of Enfield's, 1995, p.3.
- (35) Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, op.cit., p.10.
- (36) Pamela A, Thomas, Young carers; a way of life, Metropolitan Wigan, 1996, p.6.
- (37) Jo Aldridge and Saul Becker, Children who care, inside the world of young carers, Loughborough

- University, 1993, p.47.
- (38) Tilly K. Heigh, The Health needs of young carers, NCH CYMRU, 2003, p.22, Hannah Grabtree and Lesley Warner, Too much to take on, a report on young carers and bullying, PRTC, 1999, p.10.
- (39) Chris Dearden and Saul Becker, Growing up caring; vulnerability and transition to adulthood- young carers' experiences, Youth Work Press, 2000, p.20.
- (40) Tilly K. Heigh, op.cit., p.14.
- (41) ONS, Census 2001, national report for England and Wales, op.cit., p.56.
- (42) CNA, Strategies and structures, working with young carers conference report, CNA, 1992, p.11.
- (43) Audit Commission, Making reality of community care, HMSO, 1986, p.65, Sir Roy Griffiths, op.cit., p.1 and p.7, The Secretaries of State for Health, Social Security, Wales and Scotland, Caring for people, community care in the next decade and beyond, HMSO, 1989, pp.4-5.
- (44) Audit Commission, The Community revolution; personal social services and community care, HMSO, 1992, pp.17-18.
- (45) Department of Health, Young carers, making a start, report of the SSI fieldwork project on families with disability or illness, October 1995-January 1996, DH, 1996, p.27.
- (46) H.M.Government, Caring for carers, op.cit., pp.75-81.
- (47) North Tyneside, Young carers strategy, 2006-2009, North Tyneside Council, 2006, pp.10-11, Kent County Council, Invisible people, a multi-agency strategy for young carers in Kent, 2006-2010, Kent County Council, p.28, etc.
- (48) Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, op.cit., pp.60-61, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, op.cit., p.12 and p.14.
- (49) Chris Dearden and Saul Becker, The National directory of young carers projects and initiatives, CNA, 1995, p.2 and p.10, Jo Aldridge and Saul Becker, The National handbook of young carers projects, 1998 edition, CNA, p.5, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers in the UK, the 2004 report, op.cit., p.4, Saul Becker, Young carers and their families; research, policy and practice 1992-2007, University of Nottingham, 2007, p.5.
- (50) Saul Becker, Young carers and their families; research, policy and practice 1992-2007, op.cit., p.5.
- (51) Ann Mahon and Joan Higgins, A Life of our own, young carers; an evaluation of three RHA funded projects in Merseyside, University of Manchester, 1995, p.11 and p.13.
- (52) Jo Aldridge and Saul Becker, Children caring for parents with mental illness, op.cit., p.114.
- (53) Ann Mahon and Joan Higgins, op.cit., p.101
- (54) Barrie Fiedler, Young carers, making a start, report of the SSI fieldwork project on families with disability or illness, op.cit., p.34, Jacqueline Connelly, Social care; papers for practice, young carers-children in need? implications for social work practice, The University of Warwick, 1995, p.26, NCH Barnsley Young Carers Project, Evaluation of the demographics of young carers in Barnsley, Barnsley YCP, 2007, p.2 and p.8, Carers in Hertfordshire, Young carer's survey 2006, Carers in Hertfordshire, 2006, pp.5-7 and p.10.
- (55) Andrew Bibby and Saul Becker, Young carers in their own words, Calouste Gulbenkian Foundation, 2000, p.34.

- (56) Pauline Banks and als, Literature review of identification, needs assessment and service provision for young carers and their families, Scottish Executive, 2002, p.52.
- (57) A Letter from Kath Price (Project co-ordinator, YCP Conwy) to Kiyoshi MITOMI dated 26<sup>th</sup> June 2007.
- (58) Mary Morris, Voluntary work in the welfare state, Routledge and Kegan Paul Ltd, 1969, reprinted 1998, Routledge, pp.148-149.
- (59) Sheffield Young Carers Project, Second annual report October 1997-October 1998, Sheffield YCP, 1998, p.5, Sheffield YCP, 3<sup>rd</sup> annual report 1998-1999, Sheffield YCP, 1999, p.11.
- (60) Sheffield YCP, Second annual report October 1997-October 1998, op.cit., p.8, A Letter from Tanya Chan-Sam (Sheffield YCP) to Kiyoshi MITOMI dated 6<sup>th</sup> August 2007.
- (61) Communities and Local Government, The Indices of Deprivation 2004, <http://www.communities.gov.uk/index.asp?:d=1128448>.  
この諸指標の目的などに関しては、以下の文書が有用である。Communities and Local Government, Updating the English indices of Deprivation 2004, stage two blueprint peer review, Communities and Local Government, 2007, pp.1-10.
- (62) Leonie Kapadia, Young carers in Sheffield 1998-99, numbers and social needs, a report commissioned by SYCP and funded by Sheffield Youth Service, Sheffield YCP, 1999, pp.1-56, Chris Dearden and Saul Becker, Sheffield young carers project; an evaluation, interim report April 1997- September 1998, Loughborough University,, 1998, pp.1-20, Chris Dearden and Saul Becker, Meeting young carers' needs; an evaluation of Sheffield young carers project, Loughborough University, 2000, pp.1-38, Ann Mahon and Jean Higgins, A Life of our own, young carers; an evaluation of three RHA funded projects in Merseyside, op.cit., pp.1-106, Penny Liddiard, Milton Keynes young carers project, a pilot study looking at the experiences of caring of eight young people in Milton Keynes, Open University, 1995, pp.1-32, Betty Newton and Saul Becker, Young carers in Southwark, the hidden face of community care, Loughborough University, 1996, pp.1-50, Jo Aldridge and Saul Becker, Befriending young carers, a pilot study, Loughborough University, 1996, pp.1-47, Chris Dearden and Saul Becker, Young carers at the crossroads, an evaluation of the Nottingham young carers project, Loughborough University, 1996, pp.1-56, Betty Newton and Saul Becker, The Capital carers, an evaluation of capital carers young carers project,Loughborough University, 1999,pp.1-54, Pam Allen, Evaluation of a group work programme, young people coping with parental mental health, Children's Hospital Foundation Trust, 2006, pp.1-23.
- (63) A Letter from Tanya Chan-Sam (Sheffield YCP) to Kiyoshi MITOMI dated 6<sup>th</sup> August 2007.